

読書推進活動 市民意見募集結果(概要)

| 設問 | 意見概要(意見番号) |
|-----------|---|
| ①市の責務 | <p>規定の必要なし(17)</p> <p>計画の策定だけでなく、諸条件を整備する責務が必要(22)</p> <p>区役所施策は行政の過剰な個人への介入(56)</p> <p>区の計画は毎年策定し、計画策定に当たっては各区の市立図書館に意見聴取をすることを明記すべき(87)</p> <p>市の施策は、各学校が独自の計画を策定し易いよう、全市的にベースとするレベルを保障する内容を提示すべき(145)</p> <p>計画と実施のみならず評価も行うべき(87、145、149、190)</p> <p>市教育委員会は図書館・学校図書館の整備計画を策定し実行(115)</p> <p>各区長が各区の読書活動の取組を報告(125)</p> <p>区の計画策定に際して「市民の参加」を義務として明記すべき(135)</p> <p>計画、実施及び評価のいずれの段階にも市民参加が必要(149)</p> <p>策定された施策及び計画並びにその評価の市民への説明を明記(154)</p> <p>街の書店を消滅から守る対策(187)</p> <p>市の計画に基づき区の計画を策定すべき(204)</p> |
| ②家庭における取組 | <p>家族間における読書感想等の共有(7、33、99、132、141、178、191)</p> <p>身近に本を用意(7)</p> <p>規定の必要なし(17)</p> <p>辞書、辞典の活用(108)</p> <p>家庭に干渉するのは不適切(23、146)</p> <p>各家庭でどのように取り組むかまで指示されるのは踏み込みすぎ(150)</p> <p>読書タイムの設定(126)</p> <p>読書の日の設定(178)</p> <p>保護者の読書習慣を子に示す(132)</p> <p>ネットを利用しない「ノーオンラインデー」を各家庭に設ける取組(188)</p> <p>親子読書等、様々な取組に積極的に参加(160)</p> |
| ③学校における取組 | <p>学校内の図書館計画はすでにあるため、重ねて作る必要はない(16)</p> <p>学校による書籍紹介(3)</p> <p>学校における読書時間の設定(8)</p> <p>読んだ本について発表(53)</p> <p>保護者等による読み聞かせ会の推進(29、63、167)</p> <p>学校の対象を大学にまで拡大して大学図書館を開放(50)</p> <p>学校図書館に関わる人材の計画策定への関与の仕方について明文化が必要(74)</p> <p>学校司書が中心となって読書推進活動を担う職員体制づくり(84)</p> <p>計画と実施のみならず評価も行うべき(89)</p> <p>学校司書の配置に合わせ、読書推進の行事を盛り込む等、計画モデルを提示すべき(89)</p> <p>学校図書の実践(197、202)</p> <p>学校図書館の環境整備(45、93、119、138)</p> <p>中学生以上からの「読書術」の義務教育化(173)</p> <p>学校図書館への専門、専任、正規の職員の配置(24)</p> <p>学校司書の配置(34、44、46、65、70、95、102、117、130、134、164、184、192)</p> <p>司書資格を有する学校司書の配置(11、83、84、131、138、142、147、168、179)</p> <p>専任司書教諭の設置(21、75、77)</p> <p>市立高校図書館における正規の学校司書の配置(102)</p> <p>高校、大学のサークル用に読書(ネット情報含む)をゲームに合体した読書法の提案(123)</p> <p>図書館を使った授業を段階的に計画(161)</p> |

| 設問 | 意見概要(意見番号) |
|-----------|---|
| ④地域における取組 | <p>集会所等における本のリユース・リサイクル活動(9、144)</p> <p>読み聞かせの推進(4、30、54)</p> <p>団地内小図書館の開設(62)</p> <p>地区センターにおける読書イベント(古本市、読書会、作家の講演会等)の開催(81)</p> <p>市民図書や地区センターにおける読書イベント(読み聞かせ、人形劇、講演会等)の開催(162)</p> <p>ボランティアの養成(110、189)</p> <p>ボランティア市民活動を通じた学校、図書館、地区センター等との連携した取組の推進(124)</p> <p>選書方法や読書の仕方を指南するシステムの充実化(64)</p> <p>対象者に合わせてイベントを計画すれば良いので学校や図書館等との連携は不要(128)</p> <p>それぞれの連携(193)</p> <p>読書会(朗読会)の開催(91、122、207、208)</p> |
| ⑤その他意見 | <p>財政的措置(1、43、49、79、102、107、129、130、138、139、153、194、199)</p> <p>条例制定不要(105)</p> <p>移動図書館の充実(51)</p> <p>市立図書館の蔵書数の充実(12、14、15、19、37、48、78、97、98、138、199)</p> <p>市立図書館の環境整備(5、13、15、19、48、57、97、119、140、182、198)</p> <p>市立図書館の出先機関の整備(66)</p> <p>地区センター(コミュニティハウス)の図書整備(14、19、38、203)</p> <p>コミュニティハウスの整備(85)</p> <p>市立図書館の開館時間の延長(12)</p> <p>民間企業(コンビニ)と提携した市立図書館の蔵書の貸し出し(67、183)</p> <p>学校や地区センターにおける市立図書館の蔵書の貸し出し(169)</p> <p>学校図書、市民図書、地区センター等地域図書の蔵書情報の市民への提供(169)</p> <p>議会図書館や学校図書館等の市立図書館以外の読書施設との連携(129)</p> <p>家庭と学校との連携(特に小学校低学年)(2)</p> <p>読書表彰制度(43、127)</p> <p>読書コンテストの実施(68)</p> <p>家庭向けの啓発の推進(201)</p> <p>市の広報の促進(88、107)</p> <p>SNSを利用した読書感想の共有(10、114)</p> <p>学校及び地域コーディネーターの活性化(90)</p> <p>学校図書館(学校司書)と市立図書館との連携(26、109)</p> <p>図書館との連携を基軸に、学校、地域、家庭での計画策定(107)</p> <p>区役所の担当部署と各区図書館の緊密な連携(135)</p> <p>職員研修の充実(107、151、159、179)</p> <p>保育園・幼稚園の項を設けるべき(151)</p> |

読書活動の推進に関する意見

| 受付No. | 提出日 | 受付方法 | 年代 | 区名① | 在住・在勤① | 区名② | 在住・在勤② | 備考 |
|-------|-------|------|-------|-----|--------|-----|--------|----|
| 1 | 3月1日 | メール | 40代 | 都筑 | 在住 | | | |
| 2 | 3月1日 | HP | 70歳以上 | 中 | 在住 | | | |
| 3 | 3月2日 | HP | 50代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 4 | 3月3日 | メール | 無回答 | 青葉 | 在住 | | | |
| 5 | 3月4日 | HP | 50代 | 港南 | 在住 | | | |
| 6 | 3月3日 | 郵送 | 30代 | 鶴見 | 在勤 | | | |
| 7 | 3月4日 | 郵送 | 50代 | 南 | 在住 | | | |
| 8 | 3月6日 | 郵送 | 50代 | 港南 | 在住 | | | |
| 9 | 3月10日 | HP | 40代 | 戸塚 | 在住 | | | |
| 10 | 3月11日 | HP | 40代 | 金沢 | 在住 | | | |
| 11 | 3月10日 | 郵送 | 40代 | 都筑 | 在住 | | | |
| 12 | 3月11日 | 郵送 | 40代 | 磯子 | 在住 | | | |
| 13 | 3月13日 | メール | 50代 | 市外 | 在住 | | | |
| 14 | 3月12日 | 郵送 | 50代 | 瀬谷 | 在住 | | | |
| 15 | 3月12日 | 郵送 | 40代 | 鶴見 | 在住 | | | |
| 16 | 3月14日 | メール | 無回答 | 青葉 | 在住 | | | |
| 17 | 3月15日 | 郵送 | 40代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 18 | 3月16日 | 郵送 | 50代 | 港南 | 在住 | | | |
| 19 | 3月19日 | メール | 70歳以上 | 戸塚 | 在住 | | | |
| 20 | 3月20日 | HP | 30代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 21 | 3月20日 | メール | 40代 | 栄 | 在住 | | | |
| 22 | 3月21日 | HP | 40代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 23 | 3月18日 | 郵送 | 70歳以上 | 瀬谷 | 在住 | | | |
| 24 | 3月18日 | 郵送 | 70歳以上 | 戸塚 | 在住 | | | |
| 25 | 3月18日 | 郵送 | 50代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 26 | 3月19日 | 郵送 | 30代 | 磯子 | 在住 | | | |
| 27 | 3月25日 | FAX | 70歳以上 | 神奈川 | 在住 | | | |
| 28 | 3月25日 | FAX | 無回答 | 無回答 | | | | |
| 29 | 3月21日 | 郵送 | 30代 | 南 | 在住 | | | |
| 30 | 3月21日 | 郵送 | 60代 | 南 | 在住 | | | |
| 31 | 3月22日 | 郵送 | 50代 | 港南 | 在住 | | | |
| 32 | 3月22日 | 郵送 | 40代 | 栄 | 在住 | | | |
| 33 | 3月22日 | 郵送 | 20代 | 港北 | 在住 | | | |
| 34 | 3月23日 | HP | 50代 | 泉 | 在住 | | | |
| 35 | 3月23日 | HP | 50代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 36 | 3月24日 | HP | 40代 | 南 | 在住 | | | |
| 37 | 3月25日 | メール | 50代 | 南 | 在住 | | | |
| 38 | 3月24日 | FAX | 無回答 | 青葉 | 在住 | | | |
| 39 | 3月24日 | 郵送 | 70歳以上 | 栄 | 在住 | | | |
| 40 | 3月24日 | 郵送 | 60代 | 都筑 | 在住 | | | |
| 41 | 3月26日 | 郵送 | 60代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 42 | 3月26日 | メール | 70歳以上 | 栄 | 在住 | | | |
| 43 | 3月27日 | HP | 50代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 44 | 3月27日 | HP | 70歳以上 | 栄 | 在住 | | | |
| 45 | 3月27日 | HP | 30代 | 磯子 | 在住 | | | |
| 46 | 3月26日 | 郵送 | 40代 | 金沢 | 在住 | | | |
| 47 | 3月26日 | 郵送 | 60代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 48 | 3月27日 | 郵送 | 70歳以上 | 瀬谷 | 在住 | | | |
| 49 | 3月28日 | HP | 40代 | 港南 | 在住 | | | |
| 50 | 3月28日 | メール | 70歳以上 | 青葉 | 在住 | | | |

意見提出者数 80
集計

| 応募手段 | |
|------|----|
| 郵送 | 36 |
| 持参 | 0 |
| FAX | 5 |
| メール | 15 |
| HP | 24 |
| その他 | 0 |

| 年代 | |
|-------|----|
| 10歳未満 | 0 |
| 10代 | 1 |
| 20代 | 2 |
| 30代 | 6 |
| 40代 | 17 |
| 50代 | 25 |
| 60代 | 9 |
| 70歳以上 | 14 |
| 無回答 | 6 |

| 在住・在勤区(合計) ※重複カウントあり | | | |
|----------------------|----|--------|---|
| 在住 | | 在勤 | |
| 鶴見 | 3 | 鶴見 | 1 |
| 神奈川 | 1 | 神奈川 | 0 |
| 西 | 0 | 西 | 0 |
| 中 | 1 | 中 | 0 |
| 南 | 7 | 南 | 0 |
| 港南 | 9 | 港南 | 0 |
| 保土ヶ谷 | 0 | 保土ヶ谷 | 0 |
| 旭 | 1 | 旭 | 0 |
| 磯子 | 6 | 磯子 | 0 |
| 金沢 | 3 | 金沢 | 0 |
| 港北 | 1 | 港北 | 0 |
| 緑 | 0 | 緑 | 0 |
| 青葉 | 16 | 青葉 | 0 |
| 都筑 | 9 | 都筑 | 0 |
| 戸塚 | 4 | 戸塚 | 0 |
| 栄 | 5 | 栄 | 0 |
| 泉 | 3 | 泉 | 0 |
| 瀬谷 | 5 | 瀬谷 | 0 |
| (市内小計) | 74 | (市内小計) | 1 |
| 市外 | 2 | 市外 | 0 |
| 無回答 | 3 | | |

| | | | | | | | | |
|----|-------|-----|-------|-----|----|--|--|--|
| 51 | 3月29日 | HP | 60代 | 都筑 | 在住 | | | |
| 52 | 3月30日 | メール | 70歳以上 | 南 | 在住 | | | |
| 53 | 3月30日 | メール | 10代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 54 | 3月31日 | FAX | 40代 | 戸塚 | 在住 | | | |
| 55 | 3月31日 | メール | 無回答 | 無回答 | | | | |
| 56 | 3月31日 | メール | 70歳以上 | 泉 | 在住 | | | |
| 57 | 3月31日 | メール | 50代 | 磯子 | 在住 | | | |
| 58 | 3月31日 | メール | 40代 | 都筑 | 在住 | | | |
| 59 | 3月31日 | HP | 50代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 60 | 3月31日 | HP | 50代 | 都筑 | 在住 | | | |
| 61 | 3月31日 | HP | 50代 | 市外 | 在住 | | | |
| 62 | 3月31日 | HP | 50代 | 都筑 | 在住 | | | |
| 63 | 3月31日 | HP | 60代 | 磯子 | 在住 | | | |
| 64 | 3月31日 | HP | 50代 | 金沢 | 在住 | | | |
| 65 | 3月31日 | HP | 50代 | 青葉 | 在住 | | | |
| 66 | 3月31日 | HP | 50代 | 鶴見 | 在住 | | | |
| 67 | 3月31日 | HP | 40代 | 都筑 | 在住 | | | |
| 68 | 3月30日 | 郵送 | 70歳以上 | 磯子 | 在住 | | | |
| 69 | 3月28日 | 郵送 | 70歳以上 | 瀬谷 | 在住 | | | |
| 70 | 3月28日 | 郵送 | 50代 | 港南 | 在住 | | | |
| 71 | 3月28日 | 郵送 | 20代 | 港南 | 在住 | | | |
| 72 | 3月28日 | 郵送 | 60代 | 都筑 | 在住 | | | |
| 73 | 3月29日 | 郵送 | 30代 | 南 | 在住 | | | |
| 74 | 3月29日 | 郵送 | 60代 | 港南 | 在住 | | | |
| 75 | 3月30日 | 郵送 | 50代 | 港南 | 在住 | | | |
| 76 | 3月30日 | FAX | 50代 | 泉 | 在住 | | | |
| 77 | 3月31日 | 郵送 | 無回答 | 無回答 | | | | |
| 78 | 3月31日 | 郵送 | 40代 | 旭 | 在住 | | | |
| 79 | 3月31日 | 郵送 | 60代 | 鶴見 | 在住 | | | |
| 80 | 3月31日 | 郵送 | 50代 | 瀬谷 | 在住 | | | |

| 意見 No. | 設問項目 | 意見① | 受付No. |
|--------|-----------|--|-------|
| 1 | ①市の責務 | 読書活動の推進について、啓発だけではなく、本、施設の充実の為にも、十分な予算をお願いいたします。 | 1 |
| 2 | ②家庭における取組 | 低学年からの読書習慣がその後の読書活動に影響を及ぼすと思います。小学校就学前の家庭にとっては、今や、読み聞かせの重要性などを理解している親も多く、家庭においても、絵本の読み聞かせをしたり、そのような会に参加する方も多いです。また、絵本を紹介する書籍も多く出回っております。小学校入学と同時に、親は、自立の機会と考え、読書についても、つい、読み聞かせから一人での読書を促す傾向があるかと思えます。その際に、多くの子どもたちが、自分で読む事への不安や難しさを考え、同時期に、学校での音読の宿題などで、文字を読む事への嫌悪感につながっているお子さんが多いです。小学校低学年での、読書活動は、家庭と学校が一体になって行うことが、今後の読書活動の推進につながると思います。 | 1 |
| 3 | ③学校における取組 | 学校からも積極的に書籍の紹介があったり、読書の楽しさを学べる機会があるといいですね。そういう意味では、担任の先生で、読書に興味があつて、積極的にお話をされるような方は、かなり少ないと感じます。 | 1 |
| 4 | ④地域における取組 | 子どもの在校小学校でもやっておりますが、地域の読み聞かせ団体が、定期的に読み聞かせをして下さっております。外部の方との接触で、新たな読書への切り口となっております。刺激になっているようです。このような活動を、市の図書館でも積極的に行ってけるとよいと思います。 | 1 |
| 5 | ⑤その他意見 | 横浜市立図書館は、週2～3回程度利用しております。ほとんどは、ネットで本を予約し、予約の本を借りに行く感じです。図書館内に、小中学生向けの本が圧倒的に少ないと思います。子どもも、行っても、興味をひくような本はほとんど貸し出されている状態とわかっているので、図書館に滞在してじっくり読むようなことはしませんし、できると思っておりません。また、多くの子どもが言っていますが、図書館の職員があまりにも無愛想であり、怖いという感覚があるようです。実は、みなさん、丁寧に接してくれることはわかっているのですが、あまりにも無愛想で、声をかけるのが怖いし、返却も貸し出しも機械的だということです。そういうイメージが、図書館にあるので、余計に、本を楽しみに行こうと思える場所ではないのでしょうか。もちろん、静寂にする場所ですし、マナーは必要です。ただ、あまりにも無機質な感じがします。一般の書店の方が、よっぽど生き生きと子どもたちが本を見ているような感じがします。 また、よくいく都筑図書館ですが、区役所の駐車場のシステムが変わりました。今は、図書館の貸し出し返却で利用の場合は、30分無料です。以前は、もっと長かったのです。比較的混んでいる図書館で、特に、「なんか借りたいな～」という気持ちで、子どもが図書館に行つて、借りることができるまで、30分というのはあつという間なのです。私の周りでも、「昔はよく、図書館に行つただけだね。駐車場が使いづらくなつていなくなつたんだ。」という声を良く聞きます。特に、小さい子どもがいる場合は、図書館に行くのでも、車で行くことができるというのは、本当に便利なことですから、それが、駐車場のシステム変更で、利用を敬遠される原因になっています。 | 1 |
| 6 | ①市の責務 | 本を読むことの楽しさを体験させる。きめられた本ではなく、自分で面白そうだと思う本をまず選ばせる。最初はだれかに読んでもらつて、イメージが湧くかどうかを体験させる。 | 2 |
| 7 | ②家庭における取組 | 家族の誰かが本を読んで、その内容を話して聞かせる。いつでも読めるように身近に本を置いておく。安く手に入る本が沢山あるところに連れてゆき、好きな本を買つてあげる。 | 2 |
| 8 | ③学校における取組 | 10分か15分の短い時間でいいから、自分で選んだ本を読める時間を作る。 | 2 |
| 9 | ④地域における取組 | 集会所のような気軽にひとが集まれる場所に、読み終えた本を持ってきて、だれが持つていってもいいことにする。 | 2 |
| 10 | ⑤その他意見 | SNSを利用して、自分が読んで良かったと思う感想をみんなに知らせる。 | 2 |

| | | | |
|----|-----------|---|---|
| 11 | ③学校における取組 | <p>司書配置について 各区にちゃんと教員と学校司書の資格を持ち、できれば実務経験のある司書を配置するモデル校を置き、一年間やってみて問題点の洗い出しをしてほしい。 いい加減な司書配置、ボランティアを昇格させるようなことは誰も望んでいません。そんな配置は、税金の無駄使いであり、子どもたちや先生に必要なサービスはできません。 各学校で活動しているボランティアや先生の声をしっかり聞いてください。 できれば意見交換会、アンケートをとってください。</p> | 3 |
| 12 | ⑤その他意見 | <p><図書館> 横浜市青葉区に住んでいます。 若葉台 青葉台 山内 都筑にいったことがありますか かびくさいし蔵書が貧弱で悲しいです。 もう一度行きたいなあという気になりません。 読んで楽しむだけの本だったら Book offで十分。 図書館ならではの「興味を広げる」「調べものをする」目的に応えるレベルを期待します。</p> <p>1. 東京都 先日、東京都中央図書館 http://www.library.metro.tokyo.jp/ で東京マラソンにあわせた 見所満載の 江戸東京の今昔企画展があり 図書館司書の方の力量を感じました。 地図、古地図の展示、講演会にも参加し、referenceの本も自由にみることができ 週末に広尾まで数回通い終日いました。 また、猪瀬知事の書籍紹介コーナーもあり 時間があれば 今後も通いたいと思いました。 5階建てで 食堂もあり 終日いて 調べものに応える力量があり 世界が広がる図書館だと思いました。 横浜市立図書館のHP を今回 初めてみました。 中央図書館は 生活圏外ですが大きそうなので一度いってみたいです。</p> <p>2. 相模原市 相模原市でコンサートのおり 駅近の 相模大野図書館 橋本図書館 に行きました。 二つとも 市民の方の入りもよく(利用率が高い、立地がよい) 入り口に展示されている本にも 興味をそそられるものがあり充実していると思いました。</p> <p>今度長津田駅前にできる緑区の施設(駅近なので)に 期待したいところです。 青葉台には Book 1があるからいいのでしょうか？ 書店は書店で好きですが次々に 新刊書だけが消費されるばかりで たどっていきたい 既刊の重要な書籍がありません。</p> <p>図書館には 新刊本を(ただで読みたいからという理由で)たくさんそろえるだけでなく 世界を広げていく機能が期待されていると思うので 子供だけでなく 大人の生活にもたえる 蔵書をそろえていただきたいですし、 開館時間を確保してほしいです。 仕事をしているものが 勤務先から帰宅の間に寄るとなると 19:00閉館は 厳しいのもっと広げてほしいです。</p> <p><学校環境> 子供の頃 田舎の学校で冬は外に出られないので 偉人伝や推理小説の欄を全部制覇しました。 とても小さい学校でしたが それに比べても 今の我が子が通う小学校の図書室の本は少ないなあと思いました。 そのため、担任の先生が子供の頃に読む 偉人伝や 推理小説など自腹で教室に本を置いてくれ 子供はそれを嬉々として読んでいます。 MM21や横浜の顔付近くに集中する 大好きな土木工事ばかりでなく 市民の幸せを均等に広げてほしいです。 サイエンスボランティア高校(見学しましたが)の投資額を 公立校の環境整備にも使ってください。悲しくなります。 温暖化していますので公立学校の 夏の冷房くらい 市のお金を入れてあげてください。 町内会費を敬老費や入学祝い金などにまわすのではなく、もっと共通の幸せに使ってほしいです。</p> | 4 |
| 13 | ①市の責務 | <p>返却ボックスを主要駅に設置若しくは行政サービスセンターに設置。返却だけでも通勤の途中で利用できると非常に楽になり本を借りやすくなる。又、中央図書館のエントランスを明るく清潔感をもった設えにしたほうが行きやすい。トイレも内装を明るくし、温水便座の設置が必要と思う。330万都市の図書館にしては現状は貧弱すぎる。意識もそうだが環境の改善も必要では。</p> | 5 |

| | | | |
|----|-----------|---|----|
| 14 | ④地域における取組 | 地区センターの図書整備と他の音の影響をできるだけ少なくする配慮。 | 5 |
| 15 | ⑤その他意見 | 図書の貸し出しの制約が厳しい。貸出冊数の増。視聴覚施設が古すぎる。又、貸出ができないのも図書館離れになるのでは。 | 5 |
| 16 | ③学校における取組 | 校内の図書館計画はあるため、重ねて作る必要はないと思う。(読書について推進する計画) | 6 |
| 17 | ①市の責務 | 特に明文化しなくてもよいのでは。 | 6 |
| 18 | ②家庭における取組 | 特に明文化しなくてもよいのでは。 | 6 |
| 19 | ⑤その他意見 | 条例を作るより、横浜市内の図書館数をふやしたり、(区が広いのに区に1つは少なすぎる。)地区センターの図書を充実させて、広く広報する方が効果的だと思う。横浜市は、図書館数が少なく遠いため、地域の図書館を利用したことがある児童がとても少ない。まずは、自分で購入しなくても読める環境を整えてほしい。(校内の図書室の利用は多いが、本の種類は予算の関係で新しい本が少ない。) | 6 |
| 20 | ⑤その他意見 | 3つの柱のうち、区の特성에合わせた読書計画の策定について、その他にもあります。財政的措置等についての意見です。現在の図書館等の利用状況を見ますと、貸し本屋状態ではないかと思われます。いわゆる毎月発刊される娯楽本の類の待ち人数は何百人を数えています。また、窓口においても、なんでこの本を買わないのか、この新刊はまだ入らないのかなど、これが本来の図書館の使命なのかと思われることも見受けられます。このようなことは、個人の趣味であり、本来個人で購入すべきものではないでしょうか。このようなことに貴重な予算をつぎこんで良いものか、常々疑問に思っております。なかなか財政的に本が買えない人に対する配慮は必要かと思いますが、予算を有効に使っていただきたいと思います。街には本屋も古本屋もたくさんあるこの都会において、図書館等で娯楽本を揃えなくとも何ら不便はないと思われます。 | 7 |
| 21 | ⑤その他意見 | 本に親しむ市民が多ければ市全体の文化レベルが上がります。それには何より児童期にたくさん本にふれる機会を作ることが重要だと考えます。市立図書館の休館日を少なくするなど努力もあり、私としては本を借りやすい状況にあります。更に、学校での取組を充実していただきたいと思っています。私は教員として小学校に勤めていた経験がありますが、司書教諭とは名ばかりでクラス担任が図書室の管理をしていました。他府県では専任のところもあると聞いています。本市でも専任にしていくという話もあると聞いていますが、司書でなく司書教諭を置くべきです。学校の子どもの学習に直接かかわっていただけるからです。是非、市議会でも予算を確保するとともに、人の配置を考えてください。切に願います。 | 8 |
| 22 | ①市の責務 | 計画の策定だけでなく諸条件を整備する責務を明記すべき | 9 |
| 23 | ②家庭における取組 | 家庭に干渉するのは条例として不適切だが薦める程度はありうるか。 | 9 |
| 24 | ③学校における取組 | 中核となる学校図書館に必要なのは専門、専任、正規の職員。経過措置を経てでも適切な人材を確保すべき。 | 9 |
| 25 | ④地域における取組 | ボランティアは強制ではないし職員の代替でもないことに留意すべき。 | 9 |
| 26 | ⑤その他意見 | 学校図書館と市の図書館との連携についても書くべき。 | 9 |
| 27 | ①市の責務 | 図書の選定や、管理、管理者により、今子供たちが興味のものであるものなのかどうかは、学校により差が激しいと思います。子どもは、学校も先生も図書室も選ぶことはできず、与えられたものの中で 興味を持つよう強いられています。せめて区内の小中学校での本レンタルや、見学会などで、場所による差のない 図書館や、司書、対策を求めます | 10 |
| 28 | ②家庭における取組 | 本の読める環境にあるかは、家庭の事情により千差万別。家庭に何かを求めても、個人差が広がるばかりではないでしょうか。宿題の中に入れる程度でしたら、できるかもしれません。 | 10 |

| | | | |
|----|-----------|--|----|
| 29 | ③学校における取組 | 読み聞かせという言葉は、あまり好きではありませんが、総称して、保護者による絵本タイムを行っている学校は多いと思います。ここに参加しているお母さんたちを生かして、読書活動の推奨をするのは、とても効果的です。そのお母さんたちへの、増員と、レベルUP対策を考えてはいかがでしょうか | 10 |
| 30 | ④地域における取組 | 地域には、手遊び 絵本読み の得意なグループが たくさんいます。その方たちにも協力してもらってはいかがでしょうか。 | 10 |
| 31 | ⑤その他意見 | とにかく、学校による環境の差がでないよう、ご配慮ねがいます。 | 10 |
| 32 | ①市の責務 | 市の施設である図書館は、各地域におかれ便利で使いやすいと思います。書籍数も豊富であり満足しています。 | 11 |
| 33 | ②家庭における取組 | 小・中学生がおり、普段少し時間があると自然に本を手に取り読んでいるようです。私も読み聞かせ活動に参加していますので、その時の本のお話を家でも話す事が多いです。 | 11 |
| 34 | ③学校における取組 | 学校の図書室に足を運ぶ子供が少ないように感じます。司書の方を配属し、子供達に魅力的な空間作りに力を注いでいただけたら嬉しく思います。 | 11 |
| 35 | ④地域における取組 | 地域にある施設でも、年齢を問わず住民が落ち着いて本を読む場所が設けられている事をありがたく感じています。読み聞かせも、子供向けだけでなく大人向けの企画もあったりと、充実した取り組みも見うけられて良いと思います。 | 11 |
| 36 | ④地域における取組 | 学校の図書室にボランティアで中休み時間の本の貸し出し受付等をやっています。ほんの20分程度ですが、最近はとても充実した時間になってきました。春は来る生徒数も多く、ボランティア作業も慣れておらず、忙しい時間が過ぎて行くだけでしたが、秋くらいからは、来る生徒が決まってきて、こちらにも余裕ができ、最近では「この本おもしろいよね。」「いつもくるね。本好きなんだね。」と会話ができるようになりました。子供達も話しかけられてうれしそうに返事をしてくれます。図書室でのボランティアお母さんとのコミュニケーション、とても良い事だと思います。5、6年生の図書委員さんも中休みに遊べる事もできるし、図書ボランティアの取組すばらしいと思います。ただ、春にボランティアを募集するので、冬になるとボランティアの参加が激減してしまうのは残念です。先日、募集を1年に2回にわけて前期、後期で募集したらどうか提案させて頂きました。なんとか1年を通して子供達とボランティアが充実した中休みになるといいなあと思っています。図書ボランティアを取りまとめている先生、担任を持っているのに子供達のためにとても感謝しています。その先生の為にもこれからもボランティアをがんばります！ | 12 |
| 37 | ⑤その他意見 | 1 読書で 病気を予防しよう 2 市立図書館の蔵書に医療、健康に関する書籍を蔵書にして欲しい 説明1 いま日本人の2人に一人は がんになる時代です。しかし、がんについて学ぶセミナーは、がんになった人対象のテーマが多く、 http://kcch.kanagawa-pho.jp/lecture/20120114.html 、がんの治療法やがんにつかう薬など患者対象の取り組みがほとんどで、がん(病氣)に ならないための予防は少ない。がんにならない知識を子どものうちからみにつけ、また、大人になっても最新の医療情報など知っておくことで、自分の病気をふせぐことができる。また、高齢化で、病気になる人も増えるが、小学校で健康やくすり、医学について学べる授業時間も少なく、学校教育では、国により学習指導要領が定められ、これに基づいて行うこととされています。学習指導要領で学べない健康情報を、各自が興味がある健康分野での書籍を読むことで、自分や家族など身の回りの人の健康に役立てることができる。 説明2 市立図書館の蔵書に、一般向けおよび専門家向けの健康・医療の蔵書を増やして欲しい。市政は市民の健康に資するための行政だと思います。医学、健康に関する書籍は、市立図書館に一冊でもあれば、市民が図書館で本を借りることで読むことができる。 | 13 |
| 38 | ④地域における取組 | 市立の図書館なら市内、県内の本を借りることができますが、地区センターから区内の図書館の本を借りることができません。お年寄りにとっては、図書館は遠く、かといって身近な地区センターでは読みたい本、雑誌がなく、読みたい気持ちがあってもあきらめてしまいます。系統的に難しいかもしれませんが、読みたい本を身近な地区センター、コミスクを通して手にとることができたらいいなあと思います。電車やバスを乗り継いで本を借りるより、歩いて行ける方が負担がありませんから。 | 14 |
| 39 | ①市の責務 | 問題ないと思います。 | 15 |

| | | | |
|----|-----------|---|----|
| 40 | ②家庭における取組 | 問題ないと思います。 | 15 |
| 41 | ③学校における取組 | 問題ないと思います。 | 15 |
| 42 | ④地域における取組 | 問題ないと思います。 | 15 |
| 43 | ⑤その他意見 | <p>啓発活動の具体例として、毎年11月の「読書活動推進月間」より、年間どれくらい本を読んだのかを表彰する仕組みにしたらどうか。分かる範囲で、図書館、学校、地区センター、コミュニティハウスの本をどれくらい利用したのかを集計し、希望する利用者へお知らせをして、その努力をたたえるのです。もちろん、自身で購入等で読めたものを含ませ、何度同じ本を読んでも累計する仕組みです。また、新聞や調べ者をしたたりする場合も1記事1件として集計することも、読書のひとつとして挑戦する人へ集計用紙を渡したらと思います。</p> <p>財政的措置等としては、読み親しまれる漫画等の修繕に力を入れてほしい。また、市民から要望のあった貴重な資料は、図書館職員が自らその資料を閲覧し、図書館へ置くべきものか否かを判断してほしい。以前、貴重な資料で個人としては高額であるため、図書館へ置いてほしいとお願いしたことがあるが、どこかの協会を通していないものは置けないと断られたことがある。義務教育を終えた人でも、本を読めることのうれしさを、支援を行うことや人材が必要と思います。</p> | 15 |
| 44 | ⑤その他意見 | <p>子どもが〇小学校にお世話になっています。</p> <p>図書室が、暗くて寒くて、整理がされておらず、本が積み重なっている状態なのを見て、心を痛めておりました。</p> <p>せっかく「図書室を利用しよう」というカリキュラムで図書室を強制的に訪れる学年があるのに、結局足が遠のき、利用されない状態です。</p> <p>専任の学校司書を1名確保し、図書室を利用できるようにしていただきたいと切に願います。</p> <p>ボランティアで図書室整備に入らせていただき、図書室にも良い本がたくさんあること、でも、それが整理分別されていないと、子どもの目には届かないこと、を痛感しました。(大人でも探せません。また、お目当ての本があっても探せないのに、何気なく訪れた子の興味を引くなんて、とてもできないと思われそうです。)</p> <p>先生方もいろいろとお忙しい中、クラス担任との兼任では、図書室の整備ができないのは当たり前です。</p> <p>また、専任司書の方がいることで、先生方も教科準備に図書室の資料が利用でき、準備が楽に、授業が深まる、子どもたちが資料の検索、利用の仕方を実際に体験できる、など子どもの学びにも良い影響があるとの、他県の報告も読んだことがあります。</p> <p>専任司書によるブックトークを定期開催することで、絵本から字の本の読書へのステップアップでつまづいている「本嫌い、でも自分に合った本を知らないだけ」の中学年、高学年の子どもたちを読書好きに導けると 생각합니다。</p> <p>以上の理由から、早期に各学校1名の専任司書を配属お願いします。</p> <p>日本の資源は次世代の子どもたちです。ここに投資しないと、横浜、日本の未来はないです。よろしく願います。</p> | 16 |
| 45 | ⑤その他意見 | <p>最近インターネット普及や携帯型ゲームなどで、本に親しむ習慣が損なわれているので、市を挙げての推進は良い事だと思う。</p> <p>家庭では、親も共働き、子供も習い事など、親子共々時間が無い。また、本は高額なので図書館に行きたいが、なかなか時間がとれません。(やはり金銭的余裕の有る家庭でしか無理?!)</p> <p>ですから、勉強に少し余裕有る小学生の内しっかりと本に親しむ時間を学校を挙げて取り組んでほしいです。(そういう環境で育てば大人になってからでも時間が無いなりに親しむのでは?)</p> <p>学校で図書ボランティアをしています。全員で各々が環境の整備、読み聞かせなど取り組んでいますが、校長先生の意向でかなり活動が左右されています。今回学校司書も置く方向にあると聞き、歓迎しています。是非、今後も市の方よりどんどん推進して、文化環境あふれる市にしてほしいと思います。(予算的に難しそうですが、少しずつでいいので老築化した図書室の整備もお願いしたいです。</p> <p>※ついでに、中学の給食化も是非ともお願いします。これは切実な願いです!!</p> | 17 |
| 46 | ③学校における取組 | <p>平成25年度より、全市立小・中・特別支援学校に学校司書を配置するとのニュースを聞いて...</p> <p>以前から、学校司書が置かれる事を希望していました。そこで、切にお願いしたい事は、たとえ募集人数に足りなくても、最初から採用の基準を下げずに、一定のレベル以上の方をということです。</p> | 18 |

| | | | |
|----|-----------|---|----|
| 47 | ⑤その他意見 | 公共図書館に指定管理者制度を導入することについて、図書館にこの制度はなじまないと思います。日本では、公共図書館の数が伸びる反面、正職員の司書不在の図書館が36%もあるそうです。知の宝庫である図書館は、専門家がいてこそ。そして、次の世代の人を育てていく責任もあるのでは？ | 18 |
| 48 | ①市の責務 | 当横浜市は超300万人もの人口を抱える、しかも戦前から続く伝統ある政令大都市であるにもかかわらず、こと図書館規模活動の各バロメーターはかならずしも良くない。 I 因みに蔵書数では横浜市405万冊、大阪市364万冊、さいたま市332万冊(2011年現在)で東京以外ではトップではあるが人口比で見ると、さいたま市2.7冊 大阪市1.5冊 横浜市1.1冊と相対的に低い。さらに言えば、三鷹市(?)6.6冊 国立市5.5冊 あきる野市5.0冊と見る限り上には上があるのです。 II またもう一つの指標、自宅から最寄の図書館までの距離は東京は平均570メートルだそうで、この横浜市は数字がわからず、で、自宅からは最寄の戸塚図書館まで超2キロぐらいあります。又東京の場合は都内中央に広い皇居があっても平均570メートルの距離だそうです。 III その最寄の戸塚図書館は圖書の貸し出し返却だけの利用にとどめて読書文献調査で館内席を利用しません、誠に利用しづらい。理由は来館者数もさることながら、はなはだ狭隘、この上もなく狭くおちおち読書できない狭さです。椅子とイスの間で隣の人の肩がぶつかりそうな狭さ。 以上から今後も税収伸び悩む市財政でしょうが、図書館にかかわるまずハード面の充実(図書館数、敷地拡大、蔵書数一価値ある圖書の複数購入)を望みます。 | 19 |
| 49 | ②家庭における取組 | パソコン(自分はおっばらこれですが)、iPod、iPad、携帯それにテレビ等情報のあふれる海の中で時代に乗り遅れないよう様々なツールは選び放題ですが、読書からえられる楽しさを家庭にいればこそ味わえる人類最大の発明品の一つが本です。場所的にも経済的にも自宅に大きな書棚を作って沢山の本を置ける人は少ないでしょうし多くはありません。 図書館の一層の充実を願う立場です。予算面で。 | 19 |
| 50 | ③学校における取組 | 地域における取り組みに関係づけて具申したい。学校を大学にまで拡大して 横浜市市立大学、市内私立大学等の図書館を解放して一般市民が全く自由にとはいかなくとも、利用できるよう計らっていただければと思います。市大では制約ありながらも実施しているらしいと聞いていますが、折角の貴重な図書です。紛失や破損等のリスクを何とか抑えてでも解放し土日や長期夏期休暇期間の活用を大局的見地で大学のご理解ご協力を求めているいただきたい。警備、職員の負担等は何か予算措置を講ずる、文化予算創設でも。横浜国立大学も対象可能か否か。 | 19 |
| 51 | ①市の責務 | 移動図書館が少ないように思います。図書館が区に1つあれば充分と言う問題ではなく、高齢者の方、介護や育児に追われ図書館まで足を運ぶことが出来ない方、引きこもり中で人ごみに足を運ぶことが出来ない子どもや社会人に、読書を勧めるのであれば、移動図書館を増やすのはどうでしょうか？少なくともわたしは社会人で平日の昼間に家にいることは少ないですが、土日に住んでいる団地まで移動図書館が来ているのを見たことがありません。横浜市として、まずは移動図書館を増やしていただきたいと思います。 | 20 |
| 52 | ②家庭における取組 | テレビに任せ過ぎているような気がします。テレビでは想像力は育ちません。テレビを消して、家族みんなで読書をする時間を設けることが大事だと思います。親も子も余裕のない生活に追われ、時間に追われ、親と子の会話すらない家庭もあると思います。ですが、1日1時間でも30分でもいいので、テレビやゲームに費やしている時間を読書に充て、読んだ本について話し合う取り組みを日ごろから積み重ねていかなければならないと思います。 | 20 |
| 53 | ③学校における取組 | 受験のため、成績のため、に読書をするのではなく、道徳のために学年ごとに読む本を与えて欲しいと思います。朝礼で(共通でもいいし個別でもいい)読んだ本をみんな順番で毎日発表させ、感想を言う、そうした日々の行ないがこれからの将来を担う子供たちの義務だと思います。読書が楽しいものだと思うならば、活字離れはどんどん進むことでしょう。またすでにある本を読むだけではなく、自らストーリーを作りだす楽しさを与えることも大事だと思います。本を読んだことがない子供にとっては苦痛かもしれませんが、本を読まなければイメージも湧かないのだと言うことを教えることも大事です。 | 20 |

| | | | |
|----|-----------|---|----|
| 54 | ④地域における取組 | 読み聞かせをもっと推進すべきだと思います。本は読めば読むほど、場所を取るものです。使っていない施設を開放し、子供同士で読み聞かせが出来るボランティア部の推進で子供たちが特養老人ホームを訪ね読み聞かせをするなどの本による交流を地域から作りだしていくことも大事なような気がします。 | 20 |
| 55 | ⑤その他意見 | 図書館の本に落書きが多く、いつもがっかりさせられます。もう少し厳しい罰則があってもいいような気がします。 | 20 |
| 56 | ①市の責務 | 学校の取組は分かるが、市の責務、特に区役所に区民の読者についてあだこうだと言われるのは大きなお世話。行政の過剰な個人への介入だ。 | 21 |
| 57 | ①市の責務 | 図書館のパソコンでの予約、最寄りの地区センターでの受け取りや駅での返却など、横浜市立図書館のサービスには日頃から感謝しております。一方、以前住んでいた市川市の図書館では行われており、横浜市にもあればより市民の読書生活に資すると思われるものを2点挙げさせていただきます。まず、書籍購入の希望を受ける用紙が図書館のカウンターにあり、幸いにも私が依頼した書籍はすべて蔵書となりました。図書購入には市の予算や基準による制限があるかは存じますが、市民の希望を聞くシステムについてご考下されると幸いです。さらに、市川市の中央図書館などには本の殺菌をする機械が設置されていたため、子供の本は殺菌することで安心して読めました。 | 22 |
| 58 | ②家庭における取組 | 未就学児への読み聞かせの普及は、本に対する子供の興味を高めたと思いますが、文字を読めるようになった途端、親が子供の読書から離れることが多く、何を読めばよいかわからない子供は本よりもコンピュータゲームに走った例を多数見ました。文字は読めても年齢相応の良書を選ぶのは親の役目であると認識し、小学校卒業程度までは親が子の読書に関わるべきであると考えます。それには親にそれなりの知識が求められますが、不案内の親には学校や図書館からの働きかけがあると助かるかもしれません。 | 22 |
| 59 | ③学校における取組 | 他市と比較することは必ずしも正しいことではないかもしれませんが、以前子供が通学した市の学校図書館は大変充実しており、司書の有資格者が常駐し、定期的に新刊書や推薦図書などを含めた図書便りを発行していたため、子供のみならず保護者も図書に関する知識と関心を持ってたと思います。他方、横浜市立某小学校に転入してまず驚いたのは図書室の貧弱さで、図書担当の先生不在、従って図書便りなどは全くなく、蔵書も乏しいため、学校での調べものはすべてインターネット頼りのようでした。読書好きの我が子も一冊も借りずに卒業した有様です(一方、横浜市立図書館にはお世話になりました)。当地区は富裕層が多いため、学校図書に頼らず個人で本を購入するであろうからこのような状態かと勝手に理由付け致しましたが、しかし、卒業文集を見れば誤字脱字が多く、また、我が子もいじめを時々受けた事実を勘案すると、学校の読書に対する姿勢と全く無関係とも言えないような気が致します。小学校における図書室の役割や読書の大切さについて学校側が今一度見直す必要があるのではないのでしょうか。 | 22 |
| 60 | ⑤その他意見 | 区は読書活動を一つのイベントとして捉えることなく、図書館を中心に地域の施設、組織と連絡・連携して、継続的に実施してほしい。 | 23 |
| 61 | ⑤その他意見 | 私は図書館で本を借ります。往來のバスの中は図書仲間との語り合いになることもたびたびあります。3月11日以後、読んだ本の10パーセントを震災支援に送ることにしています。子育て時代、桜高に社会人読書会というのがあって参加しておりました。戦争は？天皇陛下に戦争責任はあるやなしや等まで語り合いました。議員さんも来ていらっやいました。在校の先生も参加していらっやいました。ある時私は発言のできないことがありました。社会がこわいと言いました。当時、〇さんという方があって、核に殺されるより核反対を訴えて殺されるほうがまだいいという発言があって、私は感動してうかつにもおまわりさんって知らないで、すごい人ですねとことばをかけたら、すごいけんまで叱責されたばかりでしたから。 | 24 |
| 62 | ⑤その他意見 | 〇〇団地の住人です。ここは高齢化が進み、介護や孤独死の問題が徐々に大きくなっています。団地内にミニ図書館を設置し、お茶くらはい飲めるようにしておけば、多くの老人が毎日通うと思います。そこは登録制にして、お互いの健康に気を配ったり、来なくなった老人がいたら訪問するなどすれば、安心できる団地になると思います。福祉、図書館、地域住民が一体となった実証実験を行うのもいいと思います。団地内では、公共性が問題になる場合、どこでもこの試みは可能だと思います。ご参考まで。 | 25 |

| | | | |
|----|-----------|--|----|
| 63 | ③学校における取組 | 現在、小学校の朝の時間を15分程頂き、週に一回、教室での読み聞かせ活動のボランティアに参加しています。読み聞かせでは、子供自身がふだんは手に取ることのないジャンルの本を気軽に楽しむことが出来、興味を広げていく良いきっかけになるかなと感じます。各学校で、読み聞かせ活動の輪が広がっていくと良いと思います。 | 26 |
| 64 | ④地域における取組 | それには、読み手のボランティアが不可欠で、「どんな本を選んだらよいか」「どのように読むのがベターか」を指南するシステム(図書館での掲示や講習会など)がもっと充実することを望みます。また、小学校の保護者自身が教室での読み聞かせ活動に気軽に参加することにより、保護者の学校への理解や子供たちの環境をより深く知ることにもつながり、一石二鳥の効果があると感じます。 | 26 |
| 65 | ③学校における取組 | 学校図書室の貸出ボランティアもしていますが、学校図書館にも、司書の役割を持つ専任の先生がいれば、子供たちの要望によりこたえられると思います。時々図書室に行く「ボランティア」では、蔵書への知識が少なく、また、本の分類にもうとく、はがゆいです。発達障害の子供たちの多い昨今なので、いつでも子供たちの相談に乗ってくれるカウンセラー的役割と司書の役割を兼務する大人が一人、専任で図書室にいつでもいてくれたら、図書室は子供たちのいこいの場になるのではないのでしょうか。 | 26 |
| 66 | ⑤その他意見 | 私は今神奈川図書館を楽しく利用させて頂いております。但しとても不安です。〇に居住しておりますので、図書館に行くにはバスで四停留所、その後歩いて足の悪い私は15分位で、その道程には坂があり、階段を三階分登って到着です。図書館で申し込みをお願いし又借りに行く。この事を考えると二の足を踏みます。今利用させて頂いているのは退職後主人が毎日の様に図書館通いをしているので申し込み等行ってくれております。もし主人が行けなくなったら利用したくても行けなくなるでしょう。神大寺センター(何回か利用させて頂いております)や神橋小学校でも借りる事は出来ますが市の図書は借りる事は出来ません。出来れば近くに市の図書館の出先機関の様なお所作って頂ければ大変ありがたいのですが。老人でも行ける平地でバス停に近い所なら助かります。夏休みやプールに来る子供達や〇はマンションも多くなって来ていますので利用する方も多くなるのではと思っております。 | 27 |
| 67 | ⑤その他意見 | 読書活動の推進に関する条例についての私見です。自宅に居ながらにしてネットやゲームを楽しめる時代に、本を買いにあるいは借りに行くことは面倒で、何より利便性の向上を図ることが必要だと思います。具体的にはコンビニで市の本を借りることができるようにすると良いです。今まで通りPCで予約するのもよし、またコンビニ設置の機械でコンサートチケットを予約するようになればなお良いと思います。全てのコンビニと提携するのはいきなりは難しいかも知れませんが、まずは手始めに横浜とつながりの深いローソンあたりで始めてはいかがでしょうか。(社長は横浜出身)ローソカードで設置のロッピーから予約することができるようにすれば、ローソンにもアドバンテージがつかます。レジで貸し出し返却ができるようにすれば良いでしょう。さらに「今月の貸し出しランキング」を店頭に張り出せば他の人が読んでいるものを自分も読んでみよう、いっそう読書を推進できます。 | 28 |
| 68 | ①市の責務 | 読書をしましよう！という理念は分かったがそのゴールは何で計るのか、市民に読書をしてもらうのは大いに結構。しかし、どれだけの市民に読書をしてもらうのか明確なゴールがないとすぐあいまいなものになる。横浜市は例えば読書に関してのコンテストなどをするべきだろう。読書しようという動機付けになるようなイベントをしてやっそここの条例だろう。形式的な条例だけではただのかざりものになる。 | 29 |
| 69 | ⑤その他意見 | いい本に出会えるのはうれしい。図書館ほど素晴らしいところはない。よい本をただでかしてくれる。よい方法はないか。出会える方法。さがすのはむずかしい。人生を楽しく生きるため、読書推進うれしくて心がうきうきしている様子=楽しい。なぜ読書活動の推進ととりあげたのだろう。言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かに、人生を深く生きる力、深くとはどういうことだろう、深くはいいことだろうか、もっといい言葉はないか、私は楽しいがよいと思います。 | 30 |

| | | | |
|----|-----------|--|----|
| 70 | ⑤その他意見 | 私は中学で図書ボランティアをしています。来年度から順次「学校図書館司書さん」が配属されることを心からうれしく思います。子供たちにとって本当に本が好きです。本を読める環境を整えば沢山の子が本を手にしてくれると思います。ボランティアのような素人知識では、本を欲しがら子供たちに上手に本を渡せません。今、話題の本や調べ学習で必要とされる情報、中学校図書室は小学生レベルから大人レベルまで必要とされます。その時、必要な本を渡せるのは、幅広い知識を身につけられた専門の司書さんです。その方が子供たちの傍らに居てくれたら、もっとも本を手にする子供が増えることは間違いないと思います。図書室は第二の保健室と言われますが、本当にそうです。保健室やカウンセラー室は特定の子が居て貸切状態ですし、特別な場所という感じで入れない子も多数います。図書室は誰もが自由に出入ります。先生ではない信用できる大人がいます。受験シーズンになると悩みを打ち明けの子。なかなかクラスに馴染めない子。少し時間に余裕のあるお昼休みや放課後はそういう子供たちにとっての息抜きできる場所になっています。子供たちに分け隔てなく接し、子供たちの心情により添える事も必要です。大人しい子だけではなく、少し元気なやんちゃな子も図書室を必要としていることが多いです。先生方とのコミュニケーションも必要です。公共図書館とは違うことを理解し、学校図書館の現状と、何が求められているのかを知って頂ければと思います。また、司書の方の立場を明確にして、学校側の理解を得ることも必要と思います。出来れば実際に図書室を見学されたりボランティアさんの話を聞いてみて欲しいと思います。図書室は「いじめ問題」対策に役かえる場所だと思います。 | 31 |
| 71 | ⑤その他意見 | 休み時間にマンガを読みに来るのを楽しみにしている生徒が多い。文ばかりの本も悪くはないがイラストが入っている方が好きなようで全く本を読まないというよりはマシである。私もマンガで漢字をおぼえたりした。自然と文字の多い小説やちょっとムズかしい本をよむようになった。手にとりやすい本を増やすと読むようになるのかと私は思います。 | 32 |
| 72 | ①市の責務 | 提案・検討されている内容のままでよいと考えています。 | 33 |
| 73 | ②家庭における取組 | 提案・検討されている内容のままでよいと考えています。 | 33 |
| 74 | ③学校における取組 | 学校において、学校図書館に関わる人達がそれぞれどのような形で計画策定に携わるのか、取組を推進していくのかを明文化する必要があるのではないかと考えます。というのも、ボランティアや学校司書が学校図書館の運営において、どのようなスタンスで臨んでよいのか、どこまで積極的に関わってよいのかあいまいなままでは、全力を発揮し難いと考えられるためです。既に条文化されているとのことでしたら、申し訳ありません。何とぞ、ご検討よろしくお願い致します。 | 33 |
| 75 | ①市の責務 | 10年以上放置されている、各学校への専任司書教諭の配置を少しでも早く実現する | 34 |
| 76 | ②家庭における取組 | 家庭内についてのことは、市は指示できないが、出生届け後に、ブックスタートの絵本セットの無償配布または引換券配布があるとよい。 (3種位の用意と選択可能な内容で) | 34 |
| 77 | ③学校における取組 | 専任司書教諭の配置に尽きる | 34 |
| 78 | ④地域における取組 | 横浜市立図書館は、読みたい本はすぐ何百の予約になり、役に立たない。最大2年待たされたことがあるが、市民向けの図書館と言えまい。 | 34 |
| 79 | ⑤その他意見 | <ul style="list-style-type: none"> ●(今回のチラシも同様の)地域の図書に係る横浜市の事業として、その名称を記載されたことのない、市民図書室の代表をしています。図書館、地区センター(内の図書コーナー)、コミュニティハウス(内の市民図書室)、学校施設内の市民図書室、管轄が異なるため、至近距離で設置されているところがある。某小学校市民図書室は何年無駄に地区センターと隣り合っていたのか、すぐ近くに市立図書館がある某市民図書室は活用されているのか、マッピングくらいは実施するべきです。 ●その、市民図書室の図書購入予算は平成24年度が17万、平成25年度は12万。選書した後の購入リストを持って、仕事帰りに、蒲田～川崎～鶴見～横浜駅で毎日古本屋巡りをして1冊でも多く購入します。予算減額はしないでほしい。 | 34 |

| | | | |
|----|-----------|--|----|
| 80 | ③学校における取組 | <p>学校司書の配置が決まったことは大きな進歩です。ありがとうございます。 学校内では、司書教諭と学校司書が連携をして、授業のカリキュラムの中で、図書館利用方法や読書案内などを計画的に指導していくことに期待します。 中学校区内での小中学校間の読書をテーマにした交流があるとよいと思います。</p> | 35 |
| 81 | ④地域における取組 | <p>地区センターで読書のイベントを行う。古本市や読書会、作家の講演会など図書の情報発信を行うのはどうでしょうか。</p> | 35 |
| 82 | ⑤その他意見 | <p>図書館に行かなければ本を借りることができなかった昔にくらべ、コミュニティハウスや地区センターのおかげで本が身近になりました。そんな中で以前からひとつ疑問に思っていることがあります。それは、一部の学校内にある「市民図書室」の存在です。30年以上も前に始まったこの制度はもう役割を終えているのではないのでしょうか。なぜかという、学校は週5日制になった上、開館時間が週末だけで非常に短いの、利用者数は(大人も子どもも)大変少ないのが現状です。その存在自体知らない人がほとんどではないのでしょうか。また、学校の図書室という限られたスペースに「市民図書」用の書架をいくつも置いているので、本来の学校の書架を増やせないという深刻な問題も生じています。市民図書は地域の方が古くから関わっていることが多いので、学校の管理職の先生は、地域との関係を大切にしたいので、申し立てることは避けているようですし、たとえ疑問を持っても数年で異動してしまうのでわざわざこの問題に取り組む方はいらっしゃいません。この制度のための人件費や図書購入費を他の図書サービスのために使っていただくことはできないのでしょうか。限られた予算の中、一部の方の既得権のために時代に合わない制度が続いていくことのないようにお願いしたいと思います。</p> | 35 |
| 83 | ③学校における取組 | <p>横浜市立学校には現在、正規職員の学校司書がいません。高等学校の司書(教諭)も臨任の職員で雇用が不安定と聞いています。 単年度採用では、長期的な学校図書館の計画、運営がやりにくいと思います。 子ども達や教員が学校図書館を信頼して継続利用できるよう、学校図書館の司書は正規職員の配置をお願いします。 なお、今度小中学校に採用されるという図書館職員も是非、司書資格のある方を採用してください。 今までの保護者による図書館ボランティアの人から選ぶといったことがないようにお願いします。 図書館は学校の中で、居場所として重要なところ。教室に行かれない子どもでも図書館ならいられる子もいます。保健室とはタイプの違った子が通ってきます。 担任との連絡を密にするためにも1年ごとではなく長期に対応できる職員がいいと思います。 よろしくお願いします。</p> | 36 |
| 84 | ⑤その他意見 | <p>横浜市が読書活動の推進について取り組んでいただけることをとてもうれしく思います。ぜひともよりよいものにしていただきたいと思います。意見を書かせていただきます。読書の習慣を身につけるには子どものころからの体験が大きくなると思います。ぜひ学校での読書体験をバックアップしていただきたいと思います。そのためには、本を手渡す人がいるということがたいへん重要です。このたび、小・中学校に学校司書を配置する計画がすすめられていることは本当に素晴らしいことです。どのような方を募集するのか、勤務時間はどれくらいになるのか、まだわかりませんが、どうか司書の有資格者を、可能な限りフルタイムの正規職員に近い形で置いていただけたらと思っています。また、横浜市立高校には現在フルタイムで学校司書が置かれていますが、正規職員ではなく、1年毎の勤務で、学校内で長期的な計画をたてて読書活動の推進をしていくには不十分です。ぜひ、考慮いただきたいと思います。学校の中で学校司書が中心となって、読書推進活動を担っていける職員体制づくりを強く要望いたします。</p> | 37 |

| | | | |
|----|-----------|---|----|
| 85 | ⑤その他意見 | この度の、読書活動の推進についての意見募集について、＜地域における取組＞について述べさせていただきます。あざみ野第一小学校の図書室には、横浜市の学校開放事業として市民図書のコーナーがあります。第一小の創立以来、図書室の一部を開放して頂いて市民図書がスタートしてから30年以上がたちました。その間、図書の貸し出しの他、毎月の「おはなし会」や講演会などの自主事業にも力を入れて、身近な文庫としてあざみ野中学校区のみならず幅広く利用して頂いてきました。しかし市民図書は、独立したスペースを持たず学校のご好意によって運営を続けているのが現実です。週3回だった閉館日を土曜、日曜のみにしたり書架を減らすなどして活動を縮小しながらも何とか維持しています。現在あざみ野にはコミュニティハウスがありません。コミュニティハウスが実現すれば、これまで市民図書が地域で果たしてきた読書への取り組みが受け継がれていくものと期待しております。それまでは頑張れねばと思っています。以上、長い間世話人としてあざみ野第一小学校市民図書に関わってきたメンバーの1人としての意見です。今後ともご理解とご協力を御願い申し上げます。あざみ野第一小学校市民図書 | 38 |
| 86 | ⑤その他意見 | (上郷地区センターのことで、他の地区センターのことは知りませんが) 地区センターの活用について 地区センターには、たくさんの図書が有ります。しかし、図書館と比較すると、書棚の前に居る人は少ない。近所の人でも地区センターに行ったことの無い人が多勢います。今の地区センターの運用を見直してはと思います。今の地区センターは、カラオケ、卓球などの教室は、団体のみのグループの受付で月初めの抽選で使用者(利用者)を決めています。団体の人のみが利用できる仕組みです。この方法では、個人で卓球をしたい、カラオケをしたいという人は利用できません。私の提案は、毎週1～2日は個人申込利用の日を設けて、もっと広く一般の人でも利用できるようにしたい。個人自由申込の日は、午前、午後に分けて1時間前に整理券を配り、その間の待時間に図書を見たりして、地区センターの活動を広く知らせ、図書も活用して見る方法です。 | 39 |
| 87 | ①市の責務 | (1) 区の責務を決めたことは、高く評価できる。 (2) 区が計画を策定するときには、各区の市立図書館の意見を聞くことを明記すべきである。 (3) 「計画」と「実施」だけでなく「評価」も行い、PDCA管理サイクルを回していくべきである。 (4) 区の計画は毎年策定すべきである。 | 40 |
| 88 | ②家庭における取組 | 市の広報に特集を組んだり、区長の挨拶には、必ず区民に呼びかける等PRをすること。 | 40 |
| 89 | ③学校における取組 | (1) 「計画・実施」だけでなく「評価」をして、次のアクションに結び付けるべきである。 (2) 学校司書の配置に合わせ、読書推進の行事を盛り込む等、具体的な計画モデルを提示すべきである。 (3) 学校図書館の活性化のため資料費の拡大、情報端末の配置等の施策を実施すべきである。 | 40 |
| 90 | ④地域における取組 | 学校・地域コーディネーターの活性化に取り組むべきである。 | 40 |
| 91 | ④地域における取組 | 「読書会をやりたい」という希望は地域活動のメンバーから、声が上がっていた。年間100冊読書する人、週3、4冊は読む人などが本を机上に語り合いたいと望んでおられた。読書を行うことにより、本に対して深く理解し、他人の見解を聞くことにより、又、異なった考え方を知るよい機会となり、会話を弾ませることに楽しみを見出しているのである。まだ3回の読書会の報告ではありますが、内容の充実と変化にとんだ選書をお知らせいたします。 | 41 |

| | | | |
|----|-----------|--|----|
| 92 | ⑤その他意見 | <p>私は、横浜市栄区に住む80歳の男性です。 70代前半は市内の、区内の小中学校で、主に視覚障害者を対象にした福祉教育の一端を担当して来ました。その経験に基づいて、以下の愚見を述べさせていただきます。 読書の必要性につきましては、その成果と共に古来言われてきました。が、最近の活字離れ、読書離れには目を覆うものがあります。特にこの数年間、児童生徒がバスや電車の中はもちろん、歩きながらでも「携帯」に夢中になっている様は、読書活動とは相いれないものを痛感します。 特に若い母親の「それ」はひどいものがあります…交差点をベビーカーを押しながら「携帯」に夢中！あれでは、我が子が車に、自転車にひかれても仕方ありません。 子どもの読書を！ まず第一に家庭で、母親がやらなければなりません、学校教育の一端をボランティアでやって来ました経験からしますと、家庭で、夕食後のひと時の過ごし方が「読書」はおろか、その日の学校での生活・経験の語り場がないようです。 母親は結果に対して「学校」に文句は言いますが、自分ではできないのが実態でしょう。情けないことです。 第二に学校で…現在のあまりにも忙しい先生に期待する方は無理でしょう。少なくとも、読書のフォローまでは手が回らないでしょう。 第三に地域社会で…私が児童の時代には、隣近所の「おじさん」「おばさん」が一緒になって放課後のひと時を過ごしてくれました。幸い、塾も習い事もなかった田舎の良き時代でした。その代り、数少ない本や、おじさん、おばさんの人生経験をよく話してくれました。父親、母親以上のご近所の方々がいらっしゃったのです。現在では、そのような地域社会は、余りにも数少ないのが実態でしょう。 第四に図書館・図書室があります。それはそれなりに機能はしていますが、児童生徒の数は少ないですね。幼児と母親はともかくとして、児童は、生徒はどうなっているのでしょうか。他にいくところは多すぎます。 したがって、市、区の役割は、いかに母親自身が読書…決して漫画ではなく、週刊誌ではなく、ファッション・料理ではなく、考える本、昭和の「古典」を読ませるべく啓蒙運動をやることでしょうか。 とにかく、歩きながら、またバスの中で、また電車の中で母親が携帯に夢中になり、我が子を顧みないといった非人間的なことにうつつを抜かしている現状を改善すべきか、と愚考します。</p> | 42 |
| 93 | ①市の責務 | <p>学校や家庭地域に対する基本指針を持ち、しっかりと支援していく事のできる条例、また、継続性を持たせるための条例を作っていくことが必要であると考えます。特に学校における司書配置だけでなく、「学校図書館運営における環境整備」などに及んだ条例の策定が必要であると考えます。</p> | 43 |
| 94 | ②家庭における取組 | <p>家庭では、読み聞かせだけでなく、公共図書館や学校図書館を利用する際(本屋での立ち読みのマナーもひどいが)のマナーについても、親子で話し合うなどの取り組みが必要と考える。本を利用する(読書する)のであればその本の扱いに対するマナーを持つのも必要。家族で考えるような取り組みについての条例を考えていただきたい。</p> | 43 |
| 95 | ③学校における取組 | <p>学校では学校図書館司書を配置し、司書教諭との協働で児童生徒への読書の楽しみを広げるとともに学習活動に貢献できるような環境整備を整えて行けるよう、条例の策定を考えてほしい。公共との連携には図書資料の相互貸借による配送が欠かせない。個別の貸出には量を運搬する限界がある事を理解してほしい。また、学校司書はボランティアのコーディネーターではない。ボランティアとの調整役になり本来の業務がおろそかになる事があってはならない。ボランティアに手伝ってほしいことを依頼することはあってもそれ以上は本来の業務ではなく学校側の対応すべき業務である事を理解し条例の参考としてほしい。</p> | 43 |
| 96 | ④地域における取組 | <p>地域での文庫活動や読み聞かせ活動などの横のつながりを作っていくことは必要と考える。各地域の公共図書館でこのような繋がりをささえフォローしていく事が必要。中央図書館のみで研修会や情報交換会などをやっても、遠方からは参加できない。地域の事は地域の図書館にゆだね、活動できる後押しが必要。そこを考えると、公共図書館にも人を増やし、対応が出来るようにすべき。</p> | 43 |
| 97 | ⑤その他意見 | <p>公共図書館の数が少なすぎる。横浜市は広いのに各区に1館の図書館しかないし蔵書数も少ない。都内と比べるとあまりにも貧弱だ。これでは学校が図書資料を相互貸借しようとしても本が足りなくて借りることはできない(もしくは学校同士で取り合いになる)。つまり学校図書館の学習センター機能が機能しない。公共図書館を増やし蔵書数を増やしていくことも視野に入れながら司書配置をしていかないと必ず行き詰まりになり学校司書にしわ寄せが行き、つまりは児童生徒にしわ寄せが行くことは目に見えている。</p> | 43 |
| 98 | ①市の責務 | <p>各区の図書館の蔵書を一層整備する。英語の原書も入れる試みをする。借りた本の返還を適切に指導する。</p> | 44 |

| | | | |
|-----|-----------|---|----|
| 99 | ②家庭における取組 | 家庭で親が子供の読んだ本のあらすじの説明を聞き取る。感想を特に求めなくても良い。出来るだけ自然体で、子供の好きなようにさせること。 | 44 |
| 100 | ③学校における取組 | 先ず先生方が教える生徒の年代に合わせて、特定の本を読み、良いものからその感想を生徒に伝え、インセンティブを与えるように努めること。先ず隗より始め。 | 44 |
| 101 | ④地域における取組 | 学校、図書館、地域センター等の若手職員の内で作る気のある方を集め、意見交換していただき、良いものがあれば実行する。 | 44 |
| 102 | ①市の責務 | <p>1)小中学校の図書館の充実 子どもたちにとって、最も身近な図書館は学校図書館です。 毎日通う学校の中にある図書館が充実していれば、子どもたちは幼い頃から自然と読書に親しむことができます。 小中学生の頃から当たり前のように図書館を活用する力が身に付けば、その経験は、大人になってからも活かされていくはずで。</p> <p>学校図書館が子どもたちの知的好奇心を刺激する場所であるためには、日常的な読書や、授業での調べ学習に役立つ十分な資料を揃えられる潤沢な図書購入予算が必要であるとともに、専門的な知識を持って学校図書館に常駐する職員の存在が不可欠です。 横浜で2013年度から始まる、小中学校への学校司書の配置には大いに期待しています。</p> <p>2)市立高校図書館の充実 小中学校への学校司書の配置は2013年度から始まりますが、市立高校には、ずっと以前から専任の学校司書が配置されていました。 しかし近年では、正規の学校司書が退職したあとの補充がなく、臨時雇用の職員が単年度ごとに配置されている状況です。 市立高校に通う生徒たちが、授業や部活、その他自主的な学習において図書館を充分活用できるように、市立高校の図書館に勤務する正規の学校司書の採用を再開していただきたいと願っております。</p> | 45 |
| 103 | ③学校における取組 | 我が子の小学校だけでも知れませんが、学級文庫が無く、学年共通の書棚と普通の図書館があります。しかし、本というのは「目につくから読む」という側面もあります。私は学級ごとに文庫、書棚を持つ事を強く希望します。 | 46 |
| 104 | ①市の責務 | 各学校、クラスへの書棚設置をお願いします。学級文庫には、その年齢にふさわしいと思われる推薦本を数冊入れて頂きたいですが、家庭・地域からの寄贈本で良いと思うのです。内容が適切であればマンガ本でも良いでしょう。 | 46 |
| 105 | ⑤その他意見 | これを見て正直呆れております。こんな思いつきのようなことを条例にしようというのですか？私は本を読むのが好きです。読書は人の成長に大切だとも思います。しかし、これは本を読まない人の勘違いによる提案だと思いました。これは教育委員会できちんと議論されたのでしょうか？反対する人はいなかったのでしょうか？その方がもっと問題だと思えます。読書は文化です。それを横浜市の市民全体を対象に方向づけをするようなこと自体おこがましいです。横浜市民はそんなお世話をしてくれなくても、もっと知的ですよ。区の職員、学校がこれによって計画づくりをさせられる労力がもったいないです。是非やめていただきたい！そして子供の読書は日頃子どもと接している先生方が一番わかっているはずで、必要ならば、学校ごとに取り組む課題でしょう。とにかく、あれやれ、これやれとよけいなことを押しつけない方がいいです。地域には、永年地道に「市民図書」の活動を続け、市民の読書を支えている方たちがいます。条例づくりより、現場の声に耳を傾け必要なサポートをすることが実を得ることにならないでしょうか。 | 47 |
| 106 | ⑤その他意見 | 林市長の英断と議員・教室の子供の未来、市民の生きる力に文化価値を見出す視点に敬意。 | 48 |
| 107 | ①市の責務 | <ul style="list-style-type: none"> ・財政措置 ・広報(各区の状況、ユニークな取り組み紹介) ・区担当職員を重点とした全職員の研修 ・区はパフォーマンス、イベントの打ち上げではなく、区の住民ニーズに合わせた地道な取り組みを ・図書館との連携を機軸に学校、地域、家庭での計画 | 48 |

| | | | |
|-----|-----------|---|----|
| 108 | ②家庭における取組 | 家族全員が読書を楽しむばかりでなく、辞書、辞典の活用で本に親しむ機会を。若者には就活情報、高齢者には生きがいの模索等 | 48 |
| 109 | ③学校における取組 | 学校司書と市立図書館の連携 | 48 |
| 110 | ④地域における取組 | ボランティアの養成。ボランティアの自主的、主体的な活動の保障(区はボランティアをコマのように使い捨てる傾向) | 48 |
| 111 | ⑤その他意見 | 全市の取り組みの中に山内図書館の指定管理は違和感がある。ぜひ指定管理を外して全市歩調をそろえてやっていきたい。 | 48 |
| 112 | ③学校における取組 | 市立中学校で図書館ボランティアをしているものです。ボランティアですと、どうしても管理することで手一杯になりがちです。ぜひ中学校の図書室に、魅力的に本の楽しさを子供たちに伝えてくださる 図書館司書さんに来ていただきたいです。 | 49 |
| 113 | ⑤その他意見 | 想定される条例の内容 条例の内容について、提示された資料では抽象的すぎて、具体的な活動内容が思い浮かびません。 方針だけ示して具体例はそれぞれの組織や地域で企画・実行することになるのでしょうか？ そのための予算的な裏づけはどの段階で提示されるのでしょうか？ 確認したいと存じます。 | 50 |
| 114 | ④地域における取組 | <p>背景:地区の図書館はいつも引退されたと思える(?)年配者で溢れています。他方で参考書やノートを広げている学生諸君も多く見かけます。読書への関心が低いとは思えません。しかし、自宅学習をしない生徒・学生も驚くほど多く、文章を書くのが苦手なのも事実。同じ文章でも、エッセイ風なものは意外と巧みですが、論理的に書くべきレポート、論文、或いはビジネス文書は拙いものが多いと実感しています。コミュニケーションツールとして携帯電話のメールやタブレットの扱いには習熟しています。つまり、論理的思考は下手、短く感情を表出するものは得意、活字に囚われないのが特徴といえそうです。付け加えれば、利害に直結することやエンターテインメント性には敏感です。</p> <p>目的:世代間の交流を通じて、読書の面白さと読書の意義を理解させ、読書行動につなげる。</p> <p>取り組み:地区の図書館、地区センター、或いは小生の居住する〇野団地などなら集会所を拠点として、それぞれの組織の担当者が主体となり呼びかけ、参加者を募る。期間は1年間、或いは半年間と継続的な方がよい。対象はシニア層と中学生以上の生徒や学生。多様な世代が一同に会することの方が効果的。地域のシニア層からボランティアを募り、コーディネーター役をお願いする。適切な図書を選択し(注:かつて小生のグループが取り上げたのは『若たちはどう生きるか』や『正義について語ろう』など)、徹底的に章ごとに読み込み、読み取ったことを各自文章にまとめ、その後発表、意見交換を行う。ゼミナールにおける輪読形式に近い。意見交換にワールド・カフェ方式も取り入れる。集会形式の代替案として、SNS形式を採用するののも一つの方法。ネットを介して投稿し、相互にコメントを交換する。よい投稿案はコーディネーターがコメントを付け、広く紹介する。</p> <p>期待される効果:このやり方であると、文章を精読する習慣、要約力、文章にまとめる力、発表する力、傾聴する力もつく。また自分とは違う解釈や興味の箇所の違いにも気づかされる等、相互学習のよさが生かされる。世代間の交流にも役立ちます。</p> <p>上記の取り組みを成功させるためには、各自の自発的な意思の尊重がなによりです。参加も大会も自由、雰囲気も開放的であること。また、短期的には生徒・学生にとって推薦入試の際の面接や就活にも役立つと確信しております。</p> | 50 |
| 115 | ①市の責務 | 市教育委員会は図書館および学校図書館の整備計画を策定し実行する。 | 51 |
| 116 | ②家庭における取組 | 日常的にこどもが本に接することができる環境をつくる。そのために親も本に親しむ。 | 51 |

| | | | |
|-----|-----------|--|----|
| 117 | ③学校における取組 | 学校図書館を充実する。具体的には学校司書を配置し、司書教諭と協働し児童生徒の読書活動、調べ学習に取り組む。 | 51 |
| 118 | ④地域における取組 | 地域の読書活動の核となる区立図書館を中心に市民、学校を交えた読書活動を推進する組織をできれば中学校区単位でつくり、条例を実効あるものとしていく。 | 51 |
| 119 | ⑤その他意見 | このたびの学校図書館司書の配置は画期的なことだと思います。さらに、市として、例えば年間予算の1%を図書館整備に使うなど計画的に市立図書館、学校図書館を整備し、少なくとも他の政令市なみに図書館活動の水準をあげていくことを望みます。 | 51 |
| 120 | ⑤その他意見 | 私は、横浜市中心図書館が2001年に市民と学生の読書会用に開発した「名著セミナー方式」を市民に普及させるためのNPO法人〇の2006年設立時からの〇です。毎月1回1冊の名著を読む読書会を続けています。これに関連した読書会で約200冊の名著を市民と学生とで読み好評でした。読書会活動の普及のため、横浜市〇図書館と共催で読書会と毎年無料講演会や名著セミナー新聞の発行を行い配布PRしてきました。講演会参加者を合わせると、毎年500～600名の参加をえています。 また、名著セミナー方式の読書会普及のために、2010年～2012年度に〇区生涯学級の「読書活動支援のための指導者養成講座：本と対話を楽しむ隊」を提案・受託し〇を務めました。読書会の実践の実習と同時に、読書活動のための4つの基調講演と、進行役と地域展開のノウハウの私からの講座を開き、これらに参加して頂いた市民からは大変な好評を頂いた実績を持っています。その後も事業は継続します。 成果は、今までの講座卒業生が、〇区、〇区、〇区で新たに読書会を展開しました。これらのノウハウを〇区・街の先生“人間力の付く読書術”として講演もします。地区センターの自主事業になりました。 このノウハウは、地域、学校内、企業内の読書会の実施に活用できるものと考えてPRしています。 また私は、〇年度のよこはま地域づくり大学を卒業しましたが、地区センターや、地域の連合町内会や大規模自治会の文化活動として、読書会を展開してもらうための提案をしています。 横浜市民の読書活動の推進について、目的に対応するものとして、以下の追加を提案をします。 | 52 |
| 121 | ⑤その他意見 | <基本理念> 提案1 目的を達成する手段として、読書活動の最適な方法は、読書会を普及させることである。 ●：教養の再発見：情報の溢れた現代市民社会だからこそ、英知の凝縮した本と対話は欠かせない。 ●：読書活動としての読書会とそこでの対話は、人間の社会の絆を創り上げるものとして大切である ●：高齢化時代を迎えた地域読書会は、男女退職者の知的刺激で脳の活性化と元気に繋がる。 | 52 |
| 122 | ①市の責務 | <市の責務>（<その他> 〇啓発活動を兼ねる） 提案2：読書活動推進の具体的目標：横浜市を“読書会の日本1の先進都市にする”と宣言する。 提案3：読書会日本1への最初のステップ：“読書会紹介フォーラム”を開く。（横浜市主催） ●：フォーラムに論文課題「読書会を地域・各種団体に発展させる」を募集。 この課題は、下記提案4を具体化するための方策を問うものである。 応募作の中から優秀作を選び表彰すると共に、優秀作にフォーラムで発表の場を与える。 ●：パネル紹介の中から、優秀な読書会活動を表彰する。部門別の発表と表彰。読書会発展に繋ぐ。 幼児部門、学校(小中高別)部門、大学サークル部門、市民(女性・高齢者)部門、企業内部門など。 提案4：横浜市内の各地域センターなどに“市民の・市民による・市民のための読書会”を展開する ●：この読書会は、楽しいこと、市民が指導者になれること、参加者の人生や成長のためになること ●：読書活動・読書会を展開できる“読書会ルールと読書会の進行役技能をもつ”人材を育てる。 ●：市は積極的に講演会や指導者講座を開設し、ボランティア市民や職員をこの指導者に育成する。 | 52 |
| 123 | ③学校における取組 | 提案5：高校・大学のサークル用に読書(ネット情報含)をゲームに合体した読書法を開発提案する ●：読書の要約力とコミュニケーション力を養う図表の利用。それでのディベートとゲーム的楽しみ | 52 |

| | | | |
|-----|-----------|---|----|
| 124 | ④地域における取組 | <p>提案6: ボランティア市民活動を通じた学校、図書館、地区センター等との連携した取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●: 地域から読書活動を推進する指導者を養成し地域に読書会開催を行ってもらう。(提案4参照) ●: 上記進行役は低額報酬のボランティアで、参加者は受益者負担として200円～300円を支払う。 ●: 企業・団体内(新人教育用、目的思考用)での自主活動として実施できる読書会のノウハウを提供 | 52 |
| 125 | ①市の責務 | 各区長がそれぞれの区の読書活動の取り組みを、報告できる場があれば良いと思う。 | 53 |
| 126 | ②家庭における取組 | 家族で読んだ本の感想を言うのもいいが、寝る前の10分など、時間を決めて、読書タイムを作るのも良いのではないかな。 | 53 |
| 127 | ③学校における取組 | 1年間、または学期ごとに、本を多く読んだ人をランキングにして表彰するのもおもしろいと思う。 | 53 |
| 128 | ④地域における取組 | 例えば小学校なら6年生まで、図書館なら全ての人が利用する。さらに学校にはそれぞれ特性がある。対象者に合わせてイベントを計画すれば良いと思うので、学校や図書館などと連携はしなくても良いと思う。連携の仕方を考える必要があると思う。 | 53 |
| 129 | ①市の責務 | <ul style="list-style-type: none"> ・読書施設として、公共図書館を重視すること。具体的には、専任司書制度の維持、資料購入予算の確保。 ・公共図書館だけでは、市民に対する絶対数も、読書の局面に応じた対応ができず充分ではない。そのため、他の読書施設、議会図書館・学校図書館・男女共同参画センター等の図書室、地域の大学図書館との連携のあり方を検討する場を設け、協力を行うこと。 | 54 |
| 130 | ③学校における取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校に図書館専任の職員を配置すること。 ・資料購入予算を確保すること。 | 54 |
| 131 | ⑤その他意見 | <p>○区にて14年図書ボランティアをしています。 来年度より待ちに待った司書を学校に配置して頂けることになりよるこんでいます。 でも司書資格を持たない人でも応募できるという点が心配です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、現場の先生達の信頼を得ることが困難 2、そんな人が本当に図書館を有効利用でき、授業にまで食い込んでいけるか不明 3、図書館の利用についてほとんど無経験の先生方を指導できるかなどが心配する理由です。 <p>せっかく発進するこの計画がちゃんと機能するためには、司書資格者が学校図書館に配置されるべきです。</p> | 55 |
| 132 | ②家庭における取組 | <p>家庭における読書の取り組みとして ボランティアをしても、どうしたら子どもが本を読みますかと質問されますが そう聞いてくる親のほとんどが本を読んでいません。 まず親が本を読んでいる姿を子どもに見せるべき。 同じ本を読み、感想の交換などが日常的に行われると次は何読む？とつながっていくと思います。</p> | 55 |

| | | | |
|-----|--------|---|----|
| 133 | ⑤その他意見 | <p>締切最終日で済みません。普段、戸塚および泉図書館を利用して頂いています。 一般、瀬谷図書館を含めて、横浜市は図書館運営をキチンと推進されておられるものと存じます。(検索・予約システムなども優れている) 図書館の雰囲気についてですが一特に、戸塚図書館！ 子連れの若いお母さんには申し訳ありませんが、お子さんが多くの人達が読書で静かにされているところで、お子さんが走り回っていたり、誰チャン！と大きな声を出したりで悪気はないのですが、矢張り公的な場所での市民教育上、欧米など先進国と比べて問題無しとしません。就いては 1、お子さん向けは、地域センターを活用してお子さんの読書習慣を身に付けさせるか？ 2、通常図書館で、館員の方々により他に迷惑掛りそうな場合にお母さんに注意するか？ (張り紙作戦なども併せて) 何がし、公共教育の観点を兼ねては如何か？ この手の教育が日本社会全般に無くなっていたり、大人も注意しなくなった・・などの影響もあると思いますが、ご検討されんこと希望致します。</p> | 56 |
| 134 | ⑤その他意見 | <p>豊かな活字文化の恵沢を享受出来る大人になるためには、子ども時代が重要である。 幼児から小学校低学年への読みかせは読書の入口である。 小学生からは、同時に自分から読みたいという気持ちを育み、その気持ちを伸ばして意欲的に読めるよう導く。 小学校低学年からは、読みかせと自分で読むというのと両方も大事。 今の時代、手軽に遊べるゲームやテレビなどの楽しいものが溢れているので、手間のかかる読書が敬遠される傾向にある。 小学校高学年から、だんだんに本離れが始まり、中学、高校へ上がるほど、読まない子どもが増えているのが現状。 そのためにも、小学校、中学校では、校内の毎日の朝読書などによる読書の習慣付けが有効。 読む習慣がついていけば、手軽な娯楽だけに終始するのではなく、色々な本にも手を伸ばせる。 感受性の鋭い中高生の頃の読書はとてもよい知的な刺激となる。 学校の図書室には良書が充実しており、常駐の専任の司書がいる。 子どもたちをサポートできる本の専門家である司書の存在は不可欠だ。 どれだけ本が揃っている図書室でもそれを的確に子どもに手渡せる司書がいなければ機能しない。 子どもたちがもっと読みたい気持ちになって、読みたい本が見つかる魅力のある図書室が望ましい。 朝読書の推進と読書環境の整備。</p> | 57 |
| 135 | ①市の責務 | <p>想定される条例の内容の「2. 区の特性に合わせた読書計画の策定」が大変気になります。なぜなら、読書計画は教育の施策の一部であって、長く市教育委員会が担ってきたものなのに、この条例案では区が主体となって具体的な読書活動の推進計画を策定すると言っており、これまで培ってきた教育委員会と市立図書館および各区地域図書館の取り組みやノウハウがきちんと活かせるのか心配です。地元都筑区のさまざまな地域活動に参加し、区役所との協働事業もいくつかかかわらせていただいたこの8年くらいの中で、区役所が教育委員会や市立図書館と連携した事業を計画・実行したというのはほとんど知りません。もしかしたら私が知らないだけで、そのような取り組みがあったのかも知れませんが、知らなかったのだとそれは区のPR不足もあったのではないかと懸念されます。そのような消極的態度ではせっかくこの条例が施行されても目に見える成果には結び付きにくく、大事な財源を無駄にするのではないかと非常に危惧します。</p> <p>実際に担う区役所の担当部署としては区政推進課、地域振興課、および子ども家庭支援課が想定されますが、大人まで対象として想定するのであれば、高齢・障害支援課も加え、全世代に対して同じ強度で情報発信・PRすべきです。条例を作った効果を最大限に上げるには、この「同じ強度で」が肝心だと思います。その総合的なバランスを取るのに最適なのが市立図書館各区館でしょう。現在までさまざまな世代に対して読書推進の取り組みを行ってきたわけですから、区役所の担当部署と各区図書館が緊密な連携を取らない限り、この条例は「絵に描いた餅」になってしまうにちがいません。</p> <p>最後に、区が行う具体的な計画策定にあたり、計画の初期段階から市民の参加ができるような仕組みづくりを強く希望します。専門家だけではなく、一般市民の中からさまざまな世代を加え、市が以前から推進している「市民との協働」の取り組みも絡め、協働事業として行ったらよいのではないかと考えます。こういった条例などが市民に浸透しにくい背景に、市民の知らないところで計画が作られてしまい、「さあこれから実施します」と突然言われても、その計画のプロセスや考え方がよくわからなければ、自分事として捉えることが難しくなるのは当然ではないでしょうか。ぜひ、この区が主体の計画づくりに関しては「市民の参加」を義務として条例に盛りこんで下さいませよう願っています。</p> | 58 |

| | | | |
|-----|-----------|--|----|
| 136 | ④地域における取組 | <p>想定される条例の内容の「1. 子どもから大人までの市民全般を対象」は、とてもすばらしい発想だと思います。子どもたちに対する読書推進の取り組みはこれまでも学校や図書館でさまざまに行われてきましたが、大人に対しては今まであまり聞いたことがありませんでした。この条例を契機として、多に大人向けの計画を作っていただきたいと思えます。この意見をどうして②に入れたかという、最も力を入れなければならない地域課題として、高齢者へのアプローチがあるからです。主に福祉担当部署で高齢者に対するさまざまな取り組みがなされていますが、そこにこの読書推進条例をからめていけば、新たに高齢者へのアクセスを考えなくても、もう既にできているルートを通じて事業を展開できます。無駄な経費、人材を投入せずに済むので財政的にもよいのではないのでしょうか。また、これは報道で見聞きしたことで、認知症予防に読み聞かせがとても有効だそうです。聞くだけでもよし、読み手に回っても脳の活性化につながるでしょう。地域の高齢者が元気になり、読書推進活動に大いに貢献してくれるなら、各地域全体の活性化につながるのではないのでしょうか。</p> | 58 |
| 137 | ⑤その他意見 | <p>3月31日×切で得た意見だけで「市民の意見を聞いた」ことにしないで下さい。 実際の条例成立・施行に至るあらゆるプロセスで市民の意見を聞き続けて下さい。そうやって市会や行政が積極的に市民と関わろうという姿勢は、必ず市民にいい影響を与え、市政への理解を深めていでしょう。私たち一般市民もよい市政にしたいと考えているのです。対立やトラブルを恐れるのではなく、一緒にがんばりましょう。以上、よろしくお願いたします。</p> | 58 |
| 138 | ③学校における取組 | <p>学校図書館を中核として取組を推進するには、学校図書館の充実が大前提となります。 長年、小学校で読み聞かせボランティア・図書館ボランティアをつとめてきましたが、大半の市立小学校の図書館は、調べ学習はおろか、楽しみのための読書の支援も十分にできていないのが現状です。現状打破のためには、 1.学校司書(司書資格を有する専門家)の配置 2.資料費の増額 3.スペースの確保 などが必要かと思われます。1はぜひ条例に盛り込んでいただきたい。 学校司書を置くことは、ありがたいことに既に決定されておりますが、その資格については問われていないのではと思います。教員と対等に活動でき、ボランティアの指導もできる専門家の採用を望みます。</p> | 59 |
| 139 | ⑤その他意見 | <p>財政上の措置を講じる旨、明記されているのは高く評価できます。図書館の充実、人的資源の活用など、財政的な裏づけがなくては実現が困難なものは多々あります。目下、横浜市が財政難の状況にあることは重々承知しておりますが、ぜひよろしくお願いたします。</p> | 59 |
| 140 | ①市の責務 | <p>誰もが使える市立図書館を増やしてほしい。横浜は市立図書館が各区1館しかなく、あまりにも少ない。コミュニティハウスや地区センター、学校等に市民図書室なるものがあるが、使いにくい。まず、司書がいなければ、リファレンスサービスができない。コミュニティハウスは毎日開館されていない。これらを市立図書館ときちんと連携させてほしいが、それよりもっとちゃんとした図書館を作ってほしい。</p> | 60 |
| 141 | ②家庭における取組 | <p>身近に図書館があれば、家族で行き、一緒に本を借りたい。お互いにどんな本を読んでいるのか、その本はどんな本なのか、話し合いたい。</p> | 60 |
| 142 | ③学校における取組 | <p>ボランティアとしているいろいろな学校図書館を見学しているが、横浜はひどいところが多い。「分類はちゃんとしている」というところでも、書架の中をじっくり見ると、間違いだらけだったりする。ボランティアにできることには限りがある。 学校図書館の活性化はとても大切である。25年度から学校司書が配置されるようになるということで、期待されます。本当の学校図書館になるように、司書資格を持っている人を採用してほしい。司書資格があればいいわけではない、というのは事実だが、司書資格を持っているのは最低限のことだと思う。 まず、せっかく作成されたが、あまり使われていない『はまっ子読書ノート』を有効に使ってほしい。学校によって、先生によって、あまり使われておらず、教室の隅で埃をかぶっているものもある。活用するためには、そこに紹介されている本を学校図書館に購入してほしい。 高学年が学校図書館をあまり使わない。高学年も使いやすいようにしたい。 学校図書館が狭いところが多い。これからは、もっと広く使いやすい学校図書館にようにしたい。学校図書館図書基準により、必要冊数があるが、絶対にそれだけの冊数が置けない図書館が、ほとんどである。(それだけの蔵書がある、という学校でも、蔵書点検はしていないから、たぶん数百～数千冊、紛失しているのである) また、コンピュータールームを図書館の隣にしたい。</p> | 60 |

| | | | |
|-----|-----------|---|----|
| 143 | ④地域における取組 | 読書に関するボランティアになりやすいこと。 (気軽になれること) そのボランティアたちが交流すること。 養成講座等を行い、レベルアップすること。 | 60 |
| 144 | ⑤その他意見 | 使える本をゴミにしないこと。最近は何図書館にリユース文庫が出来ている。そこだけでなく、いらなくなった本を新たな場所で活用できるようにしたい。あちこちで気軽に本が読めるようにしたい。 | 60 |
| 145 | ①市の責務 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校を含む市内全小中学校に学校司書を配置するという英断を心から喜んでいます。そこで、各学校の計画策定の指標となるべき市が示す施策には、学校司書配置を明示してください。さらに、市会で横山議員(自民党)が質問された「将来的には専門性をもつ学校司書を配置すること」も盛り込んでください。 ・山田教育長が答弁されている学校司書配置の意義や効果は、専門的な知識を持った上で実践を積んだ学校司書によってもたらされます。失礼ながら、いかに教育熱心で教諭としての優れた経験をお持ちであっても、図書館についての専門知識のない教諭経験者では、山田教育長のおっしゃる効果を生み出すことは困難ですし、司書教諭の補佐としても、知識や助言の提供をすることは難しいと思います。それぞれの資格認定のための科目を比較しても違いは明らかです。素晴らしい教諭への評価とは別に、学校司書採用に当たり、教諭だけの経験は除外して頂きたくお願いします。 ・読書活動の推進への熱意は高く評価します。その上で、行政の責務はあくまでも、全ての市民がいつでもどんなところでも、読みたい知りたいと思った時に、読書に親しみ活字文化に触れられるような環境を整備することだと思います。この条例が、全国に誇れる市立図書館、全国から受講者が来る司書養成講座を開講する鶴見大学を擁する横浜市に相応しい、文化の香り高い都市としての環境整備を推進するものになることを期待します。 ・市の示す施策は、各校が独自の計画を策定し易いよう、全市的にベースとするレベルを保障する内容を示して下さい。 ・市や区の責務として、計画・施策を策定するだけでなく、実施後の検証と評価をし、基本理念が活かされるべく見直しを盛り込み、更なる前進を促すようにして下さい。 ・山田教育長の答弁をお聞きし、「司書教諭の補佐的役割」という言葉の示す学校司書の業務と、具体的に挙げられている学校司書が担うべき(期待されている)業務との間に乖離がありました。議会中継を聞きながら、司書教諭の仕事と、その仕事のどの部分を補佐の仕事として学校司書が担うのか明確にし、全ての者が同じ言葉と同じ認識の下で使えるようにする必要があります。これらが混同されないように明示するのをも市の責務だと思います。私は、学校司書業務は司書教諭の補佐の枠内には収まらないと考えています。 ・学校司書の情報交換とスキルアップのため、また学校間に格差が生じるのを防ぐため、学校司書研修を実施することを、市の責務として明示してください。 | 61 |
| 146 | ②家庭における取組 | ・読書は非常にプライベートなものです。市の熱意は理解できますが、家庭における取り組みを条例で強制的に規定するのは如何かと思います。市には、家庭での取り組みの指示ではなく、事情があり家庭で取り組めない環境にある子どもたちも読書の楽しさに触れられるような環境整備に努めて頂きたいと希望します。 | 61 |

| | | | |
|-----|-----------|---|----|
| 147 | ③学校における取組 | <p>・各学校において、「学校図書館を中核とし」た取り組みが提示されたことを大変ありがたく思っています。</p> <p>・「学校図書館を中核とする」とするという方針に魂を入れるためには、その業務を担うのは素人では無理で、図書館と資料・情報の専門家であることが必須です。山田教育長の答弁にある、学校図書館を活用した授業をするためには、前提として、資料が揃い、整備され、且つ適宜それが提供できる学校図書館でなければなりません。また「蔵書管理」というのは、単に本を修理し、きれいに並べればいいのではありません。授業に使える資料(新聞・雑誌・冊子類を含む)を選別し、整理し、公共図書館との窓口になって資料の話をするためには専門知識が必要です。是非とも司書資格を持つ学校司書の配置をお願いします。来年度は無理でも、横山議員(自民党)が言われたように「将来的に」でも待ちますので、専門家の配置に向けての段階的計画を立てて下さい。</p> <p>・新たに配置される学校司書の、学校における受け入れ態勢をしっかりと作ってください。教諭、司書教諭と連携を取り、授業に貢献できる学校図書館を作るためには、学校内で学校司書の立場が保障されていることが必要です。その業務遂行において信頼されていなければ連携は取れません。議会答弁では、来年度の採用に当たっては無資格で学校図書館ボランティア経験者も有資格者と同等に評価されるということです。学校図書館の経験が評価されるということは嬉しいことですが、受け入れ校においても、それがきちんと評価され、業務遂行に支障が出ないように受け入れ態勢を作ってください。学校司書が児童生徒一人ひとりに対応した読書相談に答えるため、教諭の希望に応えるためには、学校司書にもきちんと情報が伝わる必要があります。それ無しではいくらコミュニケーションスキルがあっても、正当な効果は発揮できません。</p> <p>・今までは、横浜市の多くの小中学校の学校図書館は、鍵がかかっていたり、会議室に使われていたりして、学校生活の中で活用されているとは言えない状態でした。学校司書が配置されたからと言って、一足飛びに文科省の提唱する探求型学習に貢献できる学校図書館になることは無理だと承知しています。まずはオアシスとして利用されること、それから読書センターとしての活用を目指して整備し、次に学習センターとして機能させる、というように段階を踏んだ計画を立て実行していくことを望みます。</p> | 61 |
| 148 | ⑤その他意見 | <p>・基本理念 市民が活字文化を享受できるような「環境整備を重視すること」が基本理念に掲げられたことを、大変嬉しく思います。市民の中には、様々な事情で活字文化に代表される文化的環境から離れざるを得ない人もいます。市が条例の中で環境整備を謳うことは、国際都市横浜らしくて、とても素晴らしいことだと思いました。</p> <p>・財政的措置等 景気が上向きとはいえ財政難の中、市が「必要な財政上の措置を講じる」という条文があることは大変ありがたく、施策を実行する上でとても心強く、この条例を定めることへの意気込みを感じ、信頼を寄せます。</p> <p>・その他 岡山市から横浜市へ転入し、学校図書館のあまりの格差に愕然とし、横浜市時代は少しでも目の前の子どもたちのためになればと、その充実を望みつつ学校図書館ボランティアをしておりました。岡山市に戻りましたが、貴市において来年度から学校司書の全校配置へ向けて動き出すと聞き及び、心から嬉しく、期待し、応援いたしております。「市外」者でも受け付けて頂けることを知り、約10年間の学校図書館ボランティアの経験から、コメントを述べさせていただきます。読書推進、学校図書館の充実のために、良い条例が策定されますようお願いしております。</p> | 61 |
| 149 | ①市の責務 | <p>区の特性に合わせた区単位の計画を立てることに賛成。計画作成は、区役所と図書館が中心となって行うと市常任委員会で話し合われていたが、市民の参加も必要。また、実際に計画を推進する推進協議会が必要。そこには、区役所、地域図書館、保育園・幼稚園、学校、市民、その他関係機関(地区センターやコミュニティハウス、ケアプラザなど)が所属すると思う。大学や民間企業等が参加する区もあってよい。</p> <p>計画が実行できたかどうか、どの程度実行できたかの評価が必要。あまり実現できなかった計画については、課題が何かを洗い出し、次年度にどのように改善したらいいかの提案まで含めたチェック体制も必要と思う。そうしなければ、ただ計画を立てるだけとなりかねない。計画、実施、評価のいずれの段階にも市民参加は絶対必要と思う。</p> | 62 |

| | | | |
|-----|-----------|---|----|
| 150 | ②家庭における取組 | 「読んだ本の感想を話し合うこと等」と具体的なやり方についての記述があったことに違和感を覚えた。このような記述は条例ではなく、計画における事例の紹介程度にとどめるべき。また事例紹介をするなら複数事例が望ましい。各家庭でどのように取り組むかまで指示されるのは踏み込みすぎと思う。 | 62 |
| 151 | ③学校における取組 | 保育園・幼稚園における取組は学校に含まれるのだろうか。その場合は、児童・生徒という書き方では小学校以上の学校を想起させるので、他の書き方がいいと思う。学校に含めないのであれば、別途、保育園・幼稚園の項を設けるべき。 学校における読書推進を学校図書館を中核として取り組むことには賛成。25年度から学校司書の配置が始まることによって、学校図書館が図書館として機能するようになるはずであり、大いに期待している。図書館として機能させられる専門的な知識・スキルをもった学校司書の配置を望むし、質を向上させる研修を定期的に行われるようにすることも重要である。 学校においても推進体制は必要。司書教諭、学校司書、および図書主任だけでなく、管理職、教務主任、学年代表、教科主任などによって構成される学校図書館推進委員会を組織し、学校ぐるみで取り組むことで、すべての子どもの読書推進が可能になる。 教員全員が本好き、読書好きとは限らない。先生方が読書の大切さを理解し、子どもたちに適切に読書指導できるように研修が必要。また読書を文学、物語を読むことだけと考えず、読みもの以外の読書、調べるための読書などを指導することによって、子どもの読書の幅を広げることができる。学校図書館を教育に活用できるよう研究していくことにも取り組んでほしい。特に管理職の理解は重要なので、管理職研修にも盛り込んでほしいと思う。 PTAでも読書推進に取り組んでほしい。 また、学校の職員紹介に、司書教諭の名前が出ていない学校もある。新しく配置される学校司書も含めて、学校の推進組織の中核となる両者を保護者に明らかにすることが必要と思う。 | 62 |
| 152 | ④地域における取組 | ボランティアの養成、交流、研修を行政が責任をもって行う、または市民が行えるよう金銭面も含めて行政が支援する仕組みが必要。 第2土曜日に小学生向けのお話を地区センターで行っているが、参加者がとても少なくなってきている。区内、市内で行われているお話し会や読書推進イベント情報などを発信する仕組みがほしい。市民誰もがアクセスできる読書推進ポータルサイトのようなものがあるとよいと思う。 | 62 |
| 153 | ⑤その他意見 | 財政措置についての項目があることを高く評価する。お金をかけなくても工夫は必要だが、絶対に必要なお金はある。ない袖は振れない。財政が厳しい折なので、効果が高い施策、優先順位が高い施策から措置する必要はある。またすでに措置されている部分でも、これまでのやり方でよいかを見直すことは必要。本当に読書推進に資する施策にお金をかけてほしいと思う。公共図書館の資料費もこれまでに減らしすぎているので、蔵書の魅力が乏しくなっている。小学校の資料費も少ない。 公共図書館の数が圧倒的に少なく、近くに図書館のない市民が多すぎる。新館建設が難しい状況は理解できるので、まずは地区センター、コミュニティハウスとの物流ネットワークを構築する必要がある。学校を物流ネットワークに組み込むことも必要。学校司書の全校配置が完了したら、いずれ学校間・学校—公共図書館間の物流は必要になる。 図書館利用のための駐車場料金減免が30分なのは納得しがたい。せめて区役所利用と同等の1時間減免を望む。ゆっくり本を選んだり、資料について司書に相談したり、子どもたちがお話し会に参加したりすることができない。本気で読書推進をしたいのかと腹立たしく思う。 読書は本来、個人的、自主的なものである。基本理念として環境整備を重視する姿勢を高く評価する。「読め、読め」と鼓舞するばかりだったり、必読書を強制したりすることは却って読書を負担に感じて遠ざける結果になりかねない。市民が誰でも、いつでも、どこでも気軽に本を手に行うことができるような環境整備を行い、本を読む楽しさ、有益さを知れば、自ずと読書する人は増えると思う。 | 62 |
| 154 | ①市の責務 | 1) 施策の策定に当たっては、前広に市民の意見を聴き、取り入れていただきたい。策定された施策、計画を市民に説明する。実行した結果を解析し、計画の良かったところ、改善すべき点を説明していただけることを規定する条例となることを期待します。 2) いくつもある読書法についての解説や読書会(グループ)のリーダー育成を目的とする講座を設置することもご配慮ください。 | 63 |
| 155 | ②家庭における取組 | 賛成です。特に意見はありません。 | 63 |
| 156 | ③学校における取組 | 賛成です。特に意見はありません。 | 63 |

| | | | |
|-----|-----------|---|----|
| 157 | ④地域における取組 | <p>定年を迎えたのを機に、横浜中央図書館を主な会場に活動している読書会『名著セミナー』と南区で活動している『本と対話を楽しむ隊』に加入して、この条例骨子の基本理念に挙げられ手いることはもちろんのこと、課題本を中心に 他の人の本の読み方・捉え方・考え方を知る上で絶好の、また これまでは挨拶を交わすことさえもなかった方々と楽しく意見交換できる良い機会を得て 訓練を受けたリーダーの下で展開される読書会の良さを知りました。その経験から 是非 この条例を成立させていただくと共に 読書会を有意義にするため リーダーの養成にも ご配慮をお願いします。</p> | 63 |
| 158 | ⑤その他意見 | <p>活発に活動する読書会(グループ)には、会場を優先的に貸すなどの支援に加え、是非 経済面での支援もお願いします。この場合でも 自発的な活動を制限・制約するような規制条項を設けないようにお願いします。</p> | 63 |
| 159 | ①市の責務 | <p>学校図書館が常時開館できるよう専門職員配置する。また職員の研修を定期的に行う。学校の授業に即した資料を集書できるよう十分な資料購入費を確保する。また、先生方に図書館を活用した授業・学習の例を積極的に提示し、研修の場も定期的に設ける。市立図書館・周りの学校との連携がスムーズにできるよう、相互貸借時の物流等の条件整備をする。</p> | 64 |
| 160 | ②家庭における取組 | <p>PTAなどを通して、親子読書など様々な取り組みに積極的に参加する。</p> | 64 |
| 161 | ③学校における取組 | <p>まず、各学年のカリキュラムの中で、図書館を使った授業を段階的に計画する。どのような授業例があるか、積極的に研修する。特に小学校中学年以上の児童生徒が個々の興味に応じて親しめる本の紹介を積極的に行い、読書の楽しさを体験して、身近なものとして感じてもらえるよう勤める。</p> | 64 |
| 162 | ④地域における取組 | <p>各区の図書館はもちろん、市民図書や地区センターでも、読み聞かせや紙芝居・人形劇・講演会など本に親しんでもらえるようなイベントを頻繁に行う。</p> | 64 |
| 163 | ⑤その他意見 | <p>小学校中学校時代に本を読んでわくわくしたり、大好きなお話を持ったことのあることもたちは、思いやりのある、他人を愛せる人に成長すると思います。お金では代え難い大切なことと考えます。</p> | 64 |
| 164 | ①市の責務 | <p>この度の、横浜市公立小中校への学校司書配置決定は大変嬉しい出来事です。どうぞこの大切な任務を遂行するにふさわしい優秀な人材を厳選し、予定通り4年間で全小中学校へ配置してください。</p> | 65 |
| 165 | ②家庭における取組 | <p>我が家では小さな頃から小学校高学年まで、毎晩少しの時間でも枕元に絵本の読み聞かせをしていました。時には夫が読むこともあり、それはそれは盛り上がり静かに眠るどころではありませんでしたが、それも親子共通の楽しい思い出になっています。 この様にあえて読書を強制する事もなく、自然に本が手元にあったのが良かったのか、漫画も含め活字を読むのが好きで読むスピードも早いようです。 結果、大学入試まで国語についてあえて勉強する必要は全くありませんでした。 学校任せの読書力向上願望は間違っていると思います。 家庭でも、小さな頃から例えば学校や公立図書館で色々な本を借り読むようにさりげなく促し、またその際難しい内容の本である必要はなく、色々なジャンルの本で冊数をこなす体験も良いと思います。 気がついたら、本好き(本屋好き)になっている人が多いです。</p> | 65 |
| 166 | ③学校における取組 | <p>読書活動推進計画を実行していない学校が身近にあります。 ○小校長は既存の図書ボランティアの活動を著しく制限し、ボランティアメンバーのやる気をあえてそぐように4年間も圧政をしいています。どうお願いしても全く本に興味のない彼女は、より良い活動しようというボランティアとの話し合いを拒絶しています。 この様な困った校長が存在する現実を是非調査し、ちゃんと指導していただきたいです。</p> | 65 |

| | | | |
|-----|-----------|--|----|
| 167 | ④地域における取組 | これからは、地域も含めた学校図書へのボランティア参加が良いと思います。 放課後図書室開放等、地域ボランティアに呼びかければ可能です。 例:もえぎ野中図書館ボランティアの放課後・夏休み等開放見守りがあります。 | 65 |
| 168 | ⑤その他意見 | この度の学校司書配置募集には、司書資格有！を加えて欲しいです。 やはりこの学校司書は、これから校長はじめ他の教員とも対等に議論しより良い図書環境を作っていく最高責任者ですし、既存の図書ボランティアを指導していく実力を必要とするからです。 また図書館とも連携する専門知識も絶対必要不可欠です。 どうぞ末永くご指導、よろしく願います。 大変期待し、応援しています。 採用者の研修は中央図書館でなく、もっと現場のわかった講師をお願いしてください。中央図書館は学校の現状とは程遠い事しか理解していません。 | 65 |
| 169 | ⑤その他意見 | 読書活動推進について 「読書環境を整える」ことが大切です。「読みたい本」「面白い本」が身近にあれば手に取り読みます。読んで楽しければ、人に薦め伝えることもあるでしょう。まずは、良い循環を作りたいものです。 横浜市の現状として、1. 図書館が遠い(不便な場所にある)2. 予約した本を半年以上待つこともある。3. 学校図書・市民図書及び地区センター等地域図書の蔵書情報がパソコンで検索できない。という問題点があります。 私としては次の二点を提案します。一、3. の情報が広く提供されること。(特に、市民図書は一部の人にしか知られていない。) 二、横浜国立図書館の本を図書館間だけでなく、学校や地区センターでも貸し出し、返却ができるようにする。子どもやお年寄りが立ち寄りやすい場所に「読みたい本」を置く。(学校でも本を予約し、受け取ることが出来る。但し、地域図書の本は、基本的に移動はしない。) 私は、小学校での読み聞かせを10年以上行っていました。その中で感じたこと。 1. 初めは家庭での読書習慣もなく、本に興味のなかった子どもも友達と一緒に絵本を聞く(見る)うちに本を楽しめるようになる。 2. 絵本の読み聞かせにより、「集中して聴く力」も養われる。 3. 自分では手に取らなかったかもしれない本と出会い、読書の幅を広げることができる。 何より大切だと感じたことは、本を人から愛情をもって手渡されることで、「幸せな時間・空間」を共有し、人と人が繋がってゆくことだと思います。 「読みたい！」と思った時に読みたい本が読める環境をまずは、整えていただきたいと思います。 最後に10年前にはなかった「横浜市のインターネットによる蔵書検索・予約システム」をお作り頂いたことに深く感謝いたします。このシステムは最近またバージョンアップし、より利用しやすくなりました。このシステムがさらに地域の中で身近に利用できることを期待いたします。 | 66 |
| 170 | ③学校における取組 | 小学校で「はまっこ読書ノート」をせっかく配ってくれていますが、わが子が通う小学校では、全く学校で使われていないようです。そのような現実をご存じでしょうか？ 多額の経費(税金)をかけて作られていると思うのですが、配布だけでは有効な使い道はできていないと思われれます。配布するのであれば、どのように使われているか、まったく使われていないのか、配布している部署で配布後に調査をし、その結果をフィードバックして今後に生かしてほしいです。 本当にもったいないです。「はまっこ読書ノート」知らない親も多いです。 学校で配布時にどのような希望があって作られて配るのか、保護者あてに教育委員会からお手紙が一枚あってもいいかと思います。家庭で利用することもできますので。 | 67 |
| 171 | ①市の責務 | 市民の社会人としての人間性の向上に相当の責任があります。読書は有効な人格形成の手段です。 | 68 |
| 172 | ②家庭における取組 | 社会人として家庭は基本となるので、社会のテーマを常に配慮するため、読書などで教養レベルの向上につとめるべきです。 | 68 |
| 173 | ③学校における取組 | 読書による社会人としての教養を高める基本を養うのは学校教育です。当然、中学以上から「読書術」を義務教育化すべきです。 | 68 |

| | | | |
|-----|-----------|--|----|
| 174 | ④地域における取組 | 幸いなことにわが国は殆どの自治体は図書館を運営しています。しかし、殆どは「貸し本屋」が主役の仕組みです。色んな工夫が必要ですが、定期的に市民参加の読書パーティを実施しては如何でしょうか。 | 68 |
| 175 | ⑤その他意見 | 日本の今日の存在は、資源小国であり狭小な国土でありながら、つい最近までGDP世界二位の国家でした。これは一例として福沢諭吉の明治のあの時代の活躍にみられるように教育が根底にあったからです。この教育の基礎は世界の学問を読書などを一手段として導入したからです。横浜中央図書館が十年程前から開発した「名著セミナー」は参考になる一例と思います。 | 68 |
| 176 | ⑤その他意見 | 今の社会に最も必要で、未来の子供を育む最強の宝「本」の活動に全国にさがしげ横浜市が取り組むことは誇りです。読書は、自主的、主体的なもの。強制するものではありません。環境作り、人作りです。 | 69 |
| 177 | ①市の責務 | 市は財源、人材の確保(担当職員、市立、図書館、学校図書館)です。それと広報。 | 69 |
| 178 | ②家庭における取組 | 家庭に読書の日を設け、月1回、自分がやりたい活動を中心に皆で取り組み、家庭内情報交換。(お話の本、科学の本、自然や遊び、趣味、経済や社会、家庭、福祉) | 69 |
| 179 | ③学校における取組 | 学校司書の有資格採用と育成、管理職の研修 | 69 |
| 180 | ④地域における取組 | ボランティアの状況ややる気を起こす活動のあり方 | 69 |
| 181 | ⑤その他意見 | まず議員、教育委員、市職員が読書の楽しみを体験すること、市立・学校・議員図書館に足を運び、体で図書館を感じ利用し本になじむこと。頭や口先のかけ声では実のある読書活動は生まれません。 | 69 |
| 182 | ①市の責務 | 本の返却がしやすいように主要な駅に返却ポストを置いてほしい。 | 70 |
| 183 | ②家庭における取組 | 夏休みの課題図書などはコンビニを通じて借りられるようにすると、親子とも読書の機会がふえると思います。 | 70 |
| 184 | ③学校における取組 | 学校では、教え込む授業よりも調べる能力、関連事項をさがす能力を身につけさせたい。そのために、図書館を積極的に利用できること。先生方にもそのような授業を指導できる力を身につける研修を行っていただきたい。また、それを支援する学校司書の全校配置が早急に望まれる。 | 70 |
| 185 | ⑤その他意見 | 想定される条例の内容が全体的にアバウト過ぎてよく分からないのですが・・・。 読め読めと言われても本になじみの無い人がいきなり読むのは難しいと思うので、「面白そうな本がある」と思わせることからかなど。何が面白いと思うかは本当に想像つかない。自分でも分からなかったりする位人それぞれなので、ジャンル問わずいろんな本をどんどん紹介できるといいと思います。何かがあるのか分からない状態では手が出にくい。「読書活動推進月間」はどうなんだろうと思います。 他にもなんやかや「～月間」とか「～の日」とかありますが、大抵が気付かずに通り過ぎていきます。知っていてもだからといって特に何をするでもなく。名前だけにならないようなイベントとかあったらいいですね。フェスとか。お祭りのな。あ、ちょっと楽しそう。全国的に有名になる位の。それいいね。やって欲しいです。ぜひ。地下鉄のホームに本棚出現！とかも面白そう。 | 71 |

| | | | |
|-----|-----------|--|----|
| 186 | ⑤その他意見 | <p>学校図書室への司書配置すばらしい！期待しています。</p> <p>②③④に共通して認識・明文化を！</p> <p>☆「読書活動」という時、含まれているやも知れないが、明文化されないと認識されないの～！<聞く＝読んでもらう・語ってもらう>等取り入れて頂きたいです。特に乳幼児期・小学生期はこの「声を出して読んでもらう・語ってもらう・見せてもらう(＝耳から聞く！)」事により喜び、快さを味わい、満たされ、それが条例の<基本理念>で掲げられている「言葉を学び、完成を磨き、表現力を高め、創造性を～」につながってゆくと思います。アフリカ諸国などでも、識字教育の前にこの<昔話などを聞く事の重要性>が再認識され国として取り組み始めたとの事。重要な取り組みです。(日本でも！)</p> <p>☆条例の中には是非とも具体的にこの聞く事、読んでもらう事の具体的な表現を入れて頂きたいです。(学校・家庭・地域とも！)</p> <p>遅れましたが、私はこの30年以上、小学校や地区センターで「おはなし会」という活動をしております者です。詩・絵本・昔話の語りetcを組み合わせたプログラムで主に幼～小学生向けに行っています。楽しかった、快かった！と言う経験から自分からも読んでみよう！という興味につながります。家庭、学校や地区センターなどの施設等でのこういう取り組みが、子供の心身共に豊かな成長にとり重要なもので有るという条例を作ってい頂き、何重もの読書活動の壁を取りはらって頂きたい。学校・公的施設で必須の活動(聞く事)にならん事を願っています。</p> | 72 |
| 187 | ①市の責務 | <p>身近な書店が次々と閉店に追い込まれている。(書店とは限らないが)子どもや市民が気軽に立ち寄れる書店が減少している。駅前の大型店などに行くことを面倒に感じる人も多い。自宅から距離が離れているダウンタウン特有の混雑が苦手(足の不自由な人などは危険でもある)など「町の書店」を消滅から守る対策を市は何か考案してくれないだろうか。条件付で経営に補助金を出す、税制などの優遇など。昨今問題となっている蔓延するシャッター街化の進行を食い止め、町の活性化のためにも。本の購入が難しい「買い物難民」は出さないでほしい。</p> | 73 |
| 188 | ②家庭における取組 | <p>強制はできないが呼び掛けとして「ノーオンラインデー」を各家庭に設けることを進めてほしい。(緊急以外は)この日はパソコンやスマホなどのネットに触らない。家族が各好きな本を読む日、そして読み終わったら感想などを言い合う日。食事が終わったらさっさと部屋に籠もりネットに更ける・・・こんな日々の中、読書が捗るわけがない。「今日一日はネットに触らずに本を手取る」という家族ルールを推進したい。</p> | 73 |
| 189 | ③学校における取組 | <p>③④について</p> <p>学校や学童保育、公民館での読み聞かせは有効だが、率直に言ってそれは上手な読み手の人に限る。正直言って、途中退席したくなる程下手な人がいる。申し訳ないがこれでは余計読書離れが進んでしまう。劇団や声優のような滑舌、息接ぎのタイミング、抑揚などがきちんとできる方にやってもらいたい。それには、読み聞かせボランティアへのオーディション(既にあるなら厳しく)、研修などを進めてほしい。</p> | 73 |
| 190 | ①市の責務 | うたいもんくに終わらないよう、実施計画の後に効果をよく把握する | 74 |
| 191 | ②家庭における取組 | 家庭で感想を話し合うより、楽しい読書環境を作ることが大切 | 74 |
| 192 | ③学校における取組 | 学校の図書館に学校図書室に必ず1人司書が必要だと思う。児童・生徒1人1人読書の発達段階も異なるし、好みも異なると思う。児童1人1人の応じ方が大切 | 74 |
| 193 | ④地域における取組 | 夫々の連携が大切だと思う | 74 |
| 194 | ⑤その他意見 | 子どもへの読書活動への財政は現在、他の市町村に比べて、大変とぼしいと思います。 | 74 |

| | | | |
|-----|-----------|--|----|
| 195 | ⑤その他意見 | 東北の被災地で避難生活をしているお年寄りが、何もかも津波に流され生きる気力を無くしそうになった時、ボランティアの力で提供された小さな図書館で本を借り、読書を通して生きる力を得ているという報道をTVで見ました。子どもたちの為にと絵本を運んでいたボランティアさんに大人の方が、大人も貰って良いかと聞き、流された自分の家にあったのと同じ絵本を大事に抱えて帰られたという話も聞きました。普段は後回しにされそうな本の力を教えられたように思いました。横浜市に「読書活動の推進に関する条例」が必要なことは少しさみしい気もしますが、趣味としての読書だけでなく、本との関わりを推進する条例として制定して頂きたいと思いをします。 | 75 |
| 196 | ①市の責務 | 大人に対して本を読むことを市が条例で推進することには少し疑問がありますが、中途半端にお金をかけてポスターやチラシを作るようなことで無く、市民生活の中で図書館の存在を身近なものとする工夫をして欲しいと思います。 | 75 |
| 197 | ②家庭における取組 | ②③④⑤について 「教育の力」は何より大きいと思います。家庭ごとに価値観が違い、教育にお金をかけることのできる「家庭力」もさまざまだと思います。家庭ごとに価値観が違い、教育にお金をかけることのできるような環境を公が保障することで、読書する大人が育ち、町が豊かになると考えます。 横浜市の学校には司書教諭の先生がいらっしゃいますが、現実には図書室が機能していない学校がほとんどだと聞きます。学校図書館に人の配置が決まりそうなことは、嬉しいことですが、図書室の留守番だけににならないように、受け入れる学校側が学校図書館を理解し、学校ぐるみで情報センターとしての学校図書館を作り上げて欲しいし、配属される人が学校図書館を育てていくための能力を養うために、研修を欠かさないように保障して欲しいと考えます。 今の子どもたちが育つ環境は、自分たちが育った環境とは考えられないほど情報量が多く、また日々変化しています。自ら学び、正しい知識と判断力を身につけ、自立した市民が育つためには、学校図書館の充実が大きな力をもつことと、期待しています。 街が子どもを大切に育てれば、街や人を大切に思う大人に育ち、それぞれが自分の街を豊かに育てていく賢い市民になると考えます。よろしく願い致します。 | 75 |
| 198 | ①市の責務 | 「市の責務」の中には、区は区民の読書活動の推進に～とありますが、以前、地区センター、コミュニティ対象とした読書の研修会に出席した際、市は、区に対して図書購入費など予算に入れているはずだがとお聞きしましたが、実際には事務費にあてているかもしれないとお聞きしました。実際、指定管理者制度になり、〇区では図書は図書館のみに予算を出しているようで、以前あったコミュニティなどに予算がおりないとのお話も聞きました。そのことで、コミュニティでは図書室をやめてしまったところもあると聞きました。東京より引越して来た方など、横浜市は身近なところに図書館がなく、子どもをつれて出かけるには大変と・・・。 | 76 |
| 199 | ②家庭における取組 | せっかく身近な地域にコミュニティという施設があるのだから、以前のように図書室(大きくなくてもよい)を手あげ方式(ぜひ図書室をおきたい)で設置していただきたい。少しの予算をコミュニティに入れてほしい。市の図書館の予約(本の)をホームページでみると、多いときは1500人もの人が予約を入れている。本も食べ物と同じで、今話題になっている本を読みたい。本も匂があると思います。小さな子や少し高齢の方も本を手でコミュニケーションがとれるような町づくりをしていきたいと思いませんか。 | 76 |
| 200 | ①市の責務 | 区にまかせるのではなく、市としての計画を策定し、議会のチェックを経た上で、区ごとに特性を生かした計画をつくれればよいと思う。 | 77 |
| 201 | ②家庭における取組 | 家庭向けの啓発をすすめてほしい。 | 77 |
| 202 | ③学校における取組 | 学校図書を充実すべき。 | 77 |
| 203 | ④地域における取組 | 地区センターやコミュニティハウスの本を増やすべき。 | 77 |
| 204 | ①市の責務 | 市の計画をしっかりつくり、それにもとづき区の計画をつくる。 | 78 |

| | | | |
|-----|-----------|---|----|
| 205 | ②家庭における取組 | 家庭の大切さを内容の中に入れる。 | 78 |
| 206 | ⑤その他意見 | 図書館が中心になってすすめてほしい。 | 78 |
| 207 | ①市の責務 | 市立鶴見図書館は区民28万人の施設としては驚くほど貧弱です。いす、机も数えるほどしかありません。時折、利用者同士の口論さえあります。大拡充をお願いします。会館時刻が日・月・土は17時までですが、もっとおそくして頂けませんでしょうか。鶴見図書館は、閉館10分前になると大きな音量で「音楽」がかかり、耳ざわりです。もっと静かに閉館を知らせることはできませんか。職員の方々は皆親切で感謝しています。図書館などが主催して、読書歓送会、著者による講演会、お話し会などがあると楽しくためになると思います。 | 79 |
| 208 | ⑤その他意見 | 他県、他市に較べ、市としてもっと子どもに本が身近にある取組から始めるべきだと思う。「図書館」という施設でなくても、「文庫」の形でもっと密に各地域に根づかせ本にふれること。そこでの読み聞かせや朗読などにふれさせてあげることが一番。そして、子どもだけでなく大人が身近に本を感じられなければ子どもに伝えることはできません。読むことが大へんなら「朗読会」を開いて目の不自由な方にも足を運んでもらい(本は誰にでも開放されているはず!)、本に書かれている、そうねている文字をおこして朗読会を開いていくことも必要。プロでなくても地域に朗読ボランティアをしてくれる方はきっといます。また、小学生にむずかしくても本物を学校で聴くことが感性豊かな時期にしてあげてよいのではないのでしょうか。クラシックを子どもに伝えるのに本物が必要なことと同じと考えます。図書館、コミスクでも大人への朗読会も期待します。 | 80 |